

## 水上楼閣の財宝情報まとめ



### 概要

GS第19話 第一作戦「水上楼閣の財宝」

依頼人：グロフィス

推奨レベル：2-4(三次職、転生職はレベル1でも参加可)

報酬：一人30000セレン (参加報酬)

舞台：水上楼閣「ビッグセブン」

必須なスキル、装備：シーフ、レンジャー、水泳、水中戦闘用装備、屋内戦闘

概要：

最近ヴィステージボルト近辺に大量の奴隷が流れ込んでるのは知ってるか？

その奴隷は当然自然に沸いたわけじゃねえ、集められたって寸法さ。

集められた奴隷共は皆船に積み込まれて運ばれていく。

どこへ行くか知ってるかい？

その行先こそ、今話題の新大陸アルマーヤ、そしてゴブリン帝国なのさ。

しかし、地図でもわかる通りにまだアルマーヤへの航路は開拓されておらず、

ヴィステージボルトの海軍も手が届かない。

その中継地点に秘密裏に浮かぶのが、知るやつだけが知る闇の要塞「ビッグセブン」という訳だ。

奴隷売買、違法賭博、闇オークション、何でもありの無法地帯。

当然集まる金も、品物も、表じゃお目にかからないとんでもない代物だ。

こんな面白い儲け話に乗らない手はない、そうだろう？

お前達は何も考えず俺に言われたとおりに船に積み荷をのせて、

物を運んでビッグセブンに品物を納品しろ。

どこから金が出るのかとか、ビッグセブンで何が行われてるかなんて一切詮索する必要はない。

何も考えずに大金もらって、一緒に幸せになろうじゃないか。

達成目標：ビッグセブンへの船の積み荷の納品

努力目標：?????

○特記事項

1. 積み荷さえ納品すればシナリオ自体はクリアできる。
2. それ以上を望むならば困難が待ち受けている。
3. グロフィスはいつも自分の手の内を見せないなので、気になるなら暴く必要がある。
4. 好奇心は猫を殺すかもしれないが、君達はどうする？。

注意事項		12/16 22:20~12/16 22:25, 12/19 22:44
注意事項 1 :	このシナリオはグランドシナリオとなります。グランドシナリオでは、超英雄ポイントの使用による経験値ペナルティが起きません。また、グランドシナリオ内での失敗や、成功、成り行きなどは今後の世界情勢にダイレクトに影響します。	
注意事項 2 :	グランドシナリオ内では、今回からGMがパーティーを分割するようアナウンスした時以外は、別行動、単独行動は禁止とします（ゲーム進行上の問題と、参加人数の問題でばらばらに動かれると収集が付かなくなるため）。	
注意事項 3 :	参加人数の問題で、GMが宣言を見落とす場合があります。「行動の宣言、NPCへ話しかける際には、文字色を自分の名前の色に変更してください。」	
注意事項 4 :	行動を宣言する際には「>GM」をつけてください、付け忘れると行動として認定されなかったり、また、つけると取り消せなかったりします。ケースバイケースですが、大体不利な方に働くとします。	
注意事項 5 :	（戦闘時）移動や接近、確定すべき事柄はちゃんと（『>GM』をつけて）分かりやすく宣言すること。 例：【2d+10（命中1） 5mまで近づき、どこから水中へ飛び込み水中戦闘へ移行、その後コンビネーションアーツで連撃を行います。以下命中。>GM	

ブリーフィング		12/16 21:17~12/16 22:20
ブリーフィングボードに貼り出された悪党グロフィスが募集した怪しげな依頼。 それを見た冒険者たちが各々違った思惑で参加を決め、ブリーフィングルームへと向かった。 ブリーフィングルームには外部の海賊や怪しげな冒険者たちも多数。 グロフィスの説明概要： <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在地はオラトリア同盟北方本拠地。西南西の方角に一週間ほど航海した場所に地図にない島がある。</li> <li>・この島はビッグセブン。実際には島ではなく、いくつもの船を連結して一つにまとめている。規模はホオヅキと同程度。</li> <li>・仕事は木箱に入った積み荷を運ぶこと。木箱を船に積んでビッグセブンに運搬して納品する。一人当たり3万セレンの報酬を支払う。（前金無しの成功報酬）荷物を開封した場合は報酬は支払われない。</li> <li>・荷物の封をしているのは『盗賊ギルド』。開封して中身を見たら、何が起ころうとも誰も助けてくれない。</li> <li>・報酬が高額なのは、目的地が未開の地アルマーヤに続く航路が開拓されていない外海で何が起ころうか分からないから。</li> <li>・大手組織（NTCなど）との間の話は知っている。『お前らがどこの組織を頼りにしてるか知らねえがな。変な気はおこさねえことだ』</li> <li>・到着まで（キャラックで）約七日かかる距離。遅くとも十日以内に届けること。</li> <li>・大勢を集めたのは大量の物資を運ぶため。途中で船が沈んでも家族は狙われない。</li> <li>・『現在の』ビッグセブンの座標はグロフィスから教えられる。</li> <li>・荷物はホオヅキのドックに置いてある。女海賊に聞けば積み込みまでやってくれる。</li> <li>・グロフィスも目的地に行くため、出迎えはグロフィスが行う。</li> <li>・グロフィスは荷物を積んだ帆船よりも速い手段でビッグセブンに向かう。</li> </ul> グロフィスは嘘をついているようには見えなかった。（嘘発見達成値10） シーフ界限の噂： 『最近、アルマーヤ帝国近辺の公海上に、各国の海軍の手が届かない、裏シンジゲートの貿易拠点が出来たと、シーフ界限では話題になっています。巨大な七つの船を連結し、一つの楼閣を形成するという移動する海上要塞なんだとか。でも噂程度で、ほんとにあるのかどうかもわからないです』		

ホオツキのドック	12/16 22:29~12/17 01:15
<p>女海賊Aに船を貸してもらおう交渉をしたが、外部の仕事であるため断られた。自前で船を調達する必要がある。オラトリア同盟本拠地なので交渉次第で船を借りられるのではない？PCの伝手で船を借りるのも可。</p> <p>女海賊Bが積み荷の案内をしている。海賊や船乗りたちが積み込み作業をしている。運ばなければならない木箱は容量にして50樽分。</p> <p>紋章が刻んである頑丈な木箱が積みあがっている。紋章は『ボルテッカ商会』のものだった。</p> <p>十日以内に到着することを考えると、最低でも0.8キャラック以上の速度の船が必要になる。</p> <p>船を借りる交渉は、コネのある人間相手なら目標値12で成功する。レンタル料は船の価格の0.1%。</p> <p>船員の召集もセイラースキルで行う必要がある。</p> <p>ハンスの船を借りよう交渉をしたが、船が大きすぎてレンタル料が高額となり断念。セフィの船を借りることとした。</p> <p>レンタル費用に関しては後ろの方のページで計算。</p> <p>ドックでビッグセブンの情報を収集しようとしたがことごとく失敗する。ビッグセブンの話をするとどこで狙われるか分からない。</p>	

盗賊ギルド	12/16 22:58~12/16 23:36
<p>盗賊ギルドに話を聞きに行くくと受付にユラ・シグマがいた。色々あってアルマーヤに行けなくなったらしい。</p> <p>ユラから情報を購入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボルテッカ商会は主に鉱物系を扱う商会。目玉商品は青銅などの合金。魔術師が多く所属しているのでも有名な商会で、特に最近ではブルームーンの生産・製造で、時計塔のシェアの半分を占めていることで有名。誠実、公正をモットーとし、オラトリア同盟の重鎮でもある。結構お金をため込んでいる。今のところは後ろ暗い噂はない。</li> <li>・少なくとも違法な商品が動けばギルドが目をつけるが、(ボルテッカ商会には)特にそういった項目は見当たらない、少なくとも違法物品が動いてるわけではないようだ。ボルテッカ商会については商業ギルドに行けばもう少し情報が得られるだろう。</li> <li>・商業ギルドは盗賊ギルドの紹介状では動かない。商業ギルドではオラトリア商会出身者・オラトリア神殿のプリースト・オラトリア商会とのコネクション持ちならある程度は話ができるだろう。船のドックをうろついている海賊や傭兵から話が聞けるかも？</li> <li>・ビッグセブンは、最近オラトリア同盟から離脱した反オラトリア同盟(アイトラオ)が根城にしてる新しい裏シンジケート。</li> <li>・七つの船が連結されて一つの島を作っている。それぞれが「奴隷売買」「違法賭博」「人体実験」「裏医療」「薬物販売」「資金洗浄」「武器商人」と、それぞれの船が分担して七つの巨大犯罪を行って無法者の島。</li> <li>・色々あくどいことをしているが、新航路の開拓を邪魔しているのもビッグセブン。現在アルマーヤ帝国方面に行く船は片っ端から海賊に襲われて拿捕されるため、誰もアルマーヤに向かって船を出してくれない。</li> <li>・海軍は公海の上には軍隊を派遣できないし、オラトリア商会や盗賊ギルドも色々やろうとしているが、採算が合わない。航路もない。ビッグセブン自体が定期的に場所を移動しているので、関係者でないと座標が分からない。</li> <li>・グロフィスの仕事は盗賊ギルド公認。資料もあるが機密のため見せてもらえない。</li> </ul>	

オラトリア商会	12/16 23:57~12/17 01:13
<p>オラトリア商会の受付にはアルクメネ（？）がいた。まずはボルテッカ商会について情報を収集する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボルテッカ商会は商売仇。鉱物や合金を主に取り扱う商会で、最近では飛ぶ鳥を落とす勢い。アルマーヤ帝国との航路が開拓されれば、ボルテッカ商会はますます勢いづくだろう。</li> </ul> <p>話しているうちにつまみ出されるアルクメネ（？）。商人（おじさん）に交替した。色仕掛けで情報を搾り出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボルテッカ商会は最近少し騒がしくしているから新規航路の開拓はできなさそう。</li> <li>・ボルテッカ商会で製造していた虎の子の商品が、最近ごっそりと盗難に遭った。信用問題にもなるのでシーフギルドに対しても情報の封鎖を行ってひた隠しに商品を探している。</li> <li>・盗難に遭ったのは磁石。それも強力なもの。以前から雷撃を受けた金属がある程度の磁石になることは知られていた、今回、<b>魔道実験で強力な磁石を作ることに成功したのがボルテッカ商会。色々用途も幅広いので、商業ルートに乗れば一財産になる新商品。所詮磁石なので、商品自体は鉄のインゴットとほぼ原価は変わらない。価値があるのは製造技術であって、商品そのものは盗まれても大した損失ではない。商売敵に盗まれて、特許を先に取られるのでは、と戦々恐々としている。被害は樽に換算して約800ほど。</b></li> <li>・技師が誘拐されたわけではないが、自分のところの商品だと売りに出されるのが恐ろしいらしい。磁石を使うことで、建物の固定や、その他色々用途はあるようだ。強力な物なので、頑強で、取り外し自体も楽なので便利な新素材。</li> <li>・航路が開拓されていない海域での航海では、いづどんな相手に出くわすかわからないので常に見張りを立てておくこと。可能な限り腕の良い測量士と見張りを雇うべき。</li> <li>・アルマーヤへの新規航路の開拓は海賊が出るためなかなか難航している。武装小船団もなかなか行ってくれない。</li> <li>・現状では航路を開拓するうま味が薄い。アルマーヤの財宝の話はあるが不確かなため商人が動く理由にはならない。</li> <li>・海賊は最近いきなり増えたらしい。海賊はゴブリンではなく人間。</li> <li>・それ以上の情報はリーユエがベッドで聞くことになった。情報が手に入るのは次の日の朝になる。</li> </ul>	

積み込み	12/17 01:19~12/17 02:01
<p>ビッグセブンに関する軍の情報へのアクセスは機密の壁によって阻まれた。</p> <p>トーコはなぜグロフィスが荷物（盗まれた磁石）を持っているのかと不思議に思った。</p> <p>木箱にコンパスを近づけると針がくるくる回って使い物にならなくなった。船に木箱を積んでいる限りコンパスや羅針盤は役に立たないことが分かった。航海をするには六分儀（船に設置してある）があれば大丈夫だが、通常は六分儀と羅針盤を併用して航海を行うので、不安があるなら熟練測量士（レベル6）を雇う必要がある。（給料が高い）</p> <p>磁石についてPCの知識は『鉄に吸着する。砂鉄が集まる』という程度。</p> <p>熟練航海士に羅針盤が狂った時の航海について質問してみた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・せっかちな海賊は既に出航しているが今頃羅針盤が狂って慌てているかも？</li> <li>・羅針盤が使えない航海でも、狂わない確かな時計と海図があれば問題ない。海図はオラトリア商会に行けば売ってもらえる。</li> </ul>	

船での役割検討と海図購入（独自計算を含む）	12/17 21:07～12/17 22:01
<p>商業ギルドに行き、海図を1000セレンで購入した。</p> <p>船倉に水と食料が入りきらない疑惑が発生したが、水も食料も航海しながらこまめに海から補給することとした。</p> <p>船の運航には15人必要なのでPC10人いれば船員5人が必要となる。（セイラースキルのないPCでも船員として計上可能）</p> <p>操舵・操帆術のレベル分だけ船の加速が可能。</p> <p>操舵・操帆術レベル4で今回借りた武装キャラベルなら速度は2.1キャラックとなる。</p> <p>1キャラックで7日かかるなら、2.1キャラックでは、計算上は3.33日で到着が可能。</p> <p>船での移動中は水と食料の管理はPCの分も船倉で管理となるが、水と食料は現地調達も視野に入れば補給で窮することはないと思われる。</p> <p>マーメイド/マーマンも海水で水の補給はできない。</p> <p>星霊術のピュリファイウォーター2回で1樽分（20リットル）の海水を浄化可能。15人の1日分の水の補給であればピュリファイウォーター3回で調達が可能となる。</p> <p>念のため水と食料を15樽分ずつ購入して搬入した。（25人で消費すると共に6日分となる）</p> <p>リーユエが酒宴対策でガラス瓶に入ったラムとエール（酒類）を3リットルと2リットル、ブランデーとウイスキー（蒸留酒）を3リットルと2リットル購入して、ミュウのVAPのトランクに入れておいた。</p> <p>操船は船を加速するため操舵・操帆術が高いメンバー（レベル4はガリル、コンラート、セレスティア、ミュウ、リーヴェ、リーユエ）。</p> <p>測量は比較的知力Bの高いガリルで（セレスティア、ミュウ、リーヴェ、リーユエも可能）。</p> <p>見張りは特別な視力のある（後述）トーコ、ミュウ、リーユエで。（他の面子でも可能なように双眼鏡も購入済）</p> <p>飲料水の補給はドルイドが海水を浄化（リーユエ）。</p> <p>食糧の補給は採集のレベルが高いメンバーが釣りをすれば可能（レベル4はガリル、コンラート、セレスティア、ミュウ、リーユエ）。</p>	

グロフィスの尻尾を掴め	12/17 21:41～12/17 22:45
<p>グロフィスの情報を得ようとリーンの姿を探すと船の会計所で計算をしている姿が見つかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーンは今グロフィスが企んでいる内容は知らない。</li> <li>・どうせ悪だくみをするふりをして人助けをしている。たまにリーンでやることの概要をチェックしている。</li> <li>・グロフィスが何かを始めたら徹底的に洗うか手駒に徹するかのどちらかになると良い。中途半端が一番良くない。</li> <li>・ビッグセブンはアリトラオ（反オラトリア連合）シンジケートの本拠地。ホオヅキの中にも200人くらい息のかかった人間がいるようだ。雇った船員に紛れている可能性も高い。</li> <li>・ビッグセブンは大量の奴隷を集めて何かしようとしているらしい。</li> <li>・エリザベートの護衛たち（ロックとユカリとパトリシア）が（ビッグセブン絡みで）船の手配をしているようだ。本人に訊いても教えてくれないから盗賊ギルドに訊くと良い。</li> </ul>	

## 護衛たちの動きを探れ

12/17 23:02~12/18 00:27

エリザベートの護衛たち（ロック・ユカリ・パトリシア）の情報を得るために盗賊ギルドへ行く。受付にいたのはユラ。800セレンで情報を売ってもらった。

・ロックたちはティガールのS級指名手配犯がビッグセブンの総帥と会合及び取引をするという情報を掴み、そのS級手配犯を暗殺または捕縛するためにビッグセブンに向かった。そのS級指名手配犯は凄腕の同行者のせいで普段どこで何をしているのかが全く分からない。今回のように居場所がはっきりすることは滅多にない。

・S級指名手配犯は元ティガール第三皇子レオンハルト・フォン・ティガール。体格の良い豪快な印象の金髪イケメン。ミュウがその姿を記録した。

・レオンハルトの凄腕の同行者（護衛）は元ティガール最強の男。無明の狙撃兵、鷹の目エドワードと呼ばれているティガール元猟兵団長のエドワード・ラッセル。彼がレオンハルトの足取りや痕跡をいつも完全に消去するので、ロックたちも追いかけていたが手掛かりが見つからなかった。手配書の外見はさえないおっさん。酒場で飲んでいても気づかなさそうなモブ顔。

・取引されるのは『デビルコア』。正式名称はアーティフィシャルハーツ（人工心臓）。ごくごく稀に発掘されるオーバーパーツで、心臓の代わりになるもの。自分の心臓を抜き取って代わりにデビルコアを接続すると永遠の生命が手に入るらしい。

・裏世界の支配者にとって最も大切なことは長生きをすること。アンデッドのようなモンスターにならずに永遠の生命が手に入るのだからデビルコアは非常に価値が高い。

・デビルコアを起動するには不老不死の薬（錬金可能アイテムに同名の薬品あり）が必要。不老不死の薬は材料を収集することが困難で、特にリグニーストーンを正規の購買ルートを通さずに入手することが難しい。

・ユラもデビルコアの実物を見たことがないので詳細は分からないが、起動実験が成功して動作することが確定しているようだ。部下の裏切りで奪われないためにビッグセブンの総帥が自ら姿を現す。

ミュウのデビルコアに関する検索結果（クリティカル）【デビルコアは人工心臓。オーバーテクノロジー系のパーツで、心臓疾患、もしくはそれに類する救急救命に使われる品。元々は代用臓器だったが、長らくの伝説効果によって、埋め込むことで不老不死になれるアイテムに変化しているようだ】

・人工心臓と磁石に相関はなさそうだ。磁石の使い道は金属を吸着するかコンパスを狂わせるくらいしか思いつかない。

・現在ビッグセブンは取引場所に向かっている。ビッグセブンは取引場所を決めた後、別行動している巨大金庫と合流して、座標を護衛船団に知らせ、最後にレオンハルトに知らせる手順。

・ロックたちは、ティガール海軍が出ていくと護衛船団との戦争になるので少数精鋭で内々に捕縛する必要がある。

・グロフィスが教えてきた座標は現在のビッグセブンの座標で、十日後にはビッグセブンはその場所を通り過ぎている。

・ビッグセブンに行くことが不安なら、グロフィスを信じるか依頼から降りるか。

・ビッグセブンは七隻の巨大ガレオン（帆船）が連結したもので、移動するときには連結を外して移動する。その時に先頭の船が先導して目的地を決める。目的地は無作為に移動してから測量で現在値を特定。その座標を魔法で関連する相手に飛ばす。

・行先は護衛船団にも分からない。護衛船団はもっぱら停泊中のビッグセブンを護衛する。これは裏切りを防ぐための処置らしい。

ビッグセブンの総帥は直属の七人の幹部（巨大ガレオン船の船長）しか信用していない。

・もし金庫船と合流した瞬間に、現在地の座標が分からなくなったら、護衛船団を呼べずにビッグセブンは丸裸になる。

・グロフィスはレオンハルトについては興味がない？

## 見張り

12/18 00:31~12/18 01:11

見張りは視力の良い人間を招くか望遠鏡を用意するかで解決が可能。

望遠鏡は拡大率6倍（60m先が仔細に見られる）のもの（8000セレン）と、拡大率13倍（130m先が仔細に見られる）の双眼鏡タイプ（50000セレン）が、スクラップジョーの店で売られていた。コンラートとリーユエが個人的に双眼鏡タイプを購入。（重さは1）暗視機能のあるものはない。

倍率×10m先のを仔細に見ることが可能。蜂須賀忍者の鷹の目で20倍、ミュウの電腦で50倍、ヴァンピールの視力で300倍、仙人の千里眼で500倍となる。

なお、天体望遠鏡になると50万セレン以上となる。（店にはなかった）

夜は相手も同条件なので、見張りの必要はないようだ。昼の間に2~3交代できれば見張りは問題ないと思われる。

見張りは、トーコ（赤外線視力有りの鷹の目で20倍）、ミュウ（ズームで50倍。暗闇に弱い）、リーユエ（千里眼で500倍。暗闇は見通せない）で交替すれば良さそう。

枕営業	12/18 01:16~12/18 01:36
<p>リーユエがオラトリア商会のおじさんからベッドで情報収集をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビッグセブンに運び込まれているのは奴隷だが、特に少年少女、低年齢の奴隷ばかりが選ばれて送られている。</li> <li>・ビッグセブンは現在ゴブリン帝国とは取引を行っていない。</li> <li>・奴隷売買ももちろんビッグセブンで行われているが、運び込まれる子供の奴隷と、売りに出される数が明らかに合わない。</li> <li>・人体実験や、違法医療なども行われているビッグセブンなので、子供たちがどうなっているかはお察し。</li> <li>・特に大量の奴隷船がこの港（オラトリア同盟北方本拠地）からビッグセブンに出発する。今までの十倍以上の子供の奴隷が搬送されること。何か特別なイベントがあるのかもしれない。</li> <li>・特別な取引があって、ビッグセブンの総帥が出てくる。それに付随して子供が必要になるのではないかともっぱらの噂。</li> <li>・取引にかかわりのある重要なキーワードやアイテムがあれば詳しく調べてみる必要があるかもしれない。彼は取引内容については知らなかった。</li> </ul>	

出航準備	12/18 22:24~12/19 00:10			
<p>各々出航準備を整えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミュウのVAP搬入、個人の買い物、部屋置きからのアイテム搬入など。</li> <li>・コンラートが懐中時計の時刻合わせ。リーユエは枕営業明けなので寝た。</li> <li>・15人の船員（全員が人間）と契約を行った。その際に面接を行いウィリアムが『オラトリア所属か否か』と質問をし嘘発見を試みた。達成値は15だった。</li> </ul>				
船員たちの回答				
番号	名前	嘘発見	所属回答	その他
1	A	真	オラトリア	CとDはオラトリア。A・C・Dは嘘はつかない。
2	B	真	フリー	
3	C	真		BとEは怪しい
4	D	真	オラトリア	A・CとDはオラトリア。FとGもオラトリア仲間。Hは怪しい
5	E	灰	オラトリア	BはEの仲間
6	F	真	オラトリア	Eは半分嘘をついている
7	G	真	オラトリア	Hは嘘つき
8	H	偽	オラトリア	Cは裏切り者
9	I	真	オラトリア	Jは相方
10	J	真	オラトリア	BとEが密談していた
11	K	灰	オラトリア	A・C・E・H・Oはオラトリアではない。
12	L	真	オラトリア	C・Dは仲間です出所は確か
13	M	真	フリー	B・H・Kはオラトリアではない
14	N	真	フリー	H・Kは怪しい
15	O	灰	フリー	C・D・H・Mは裏切り者
回答の検討				
<p>A・C・D・F・G・I・J・Lはオラトリア所属で間違いなさそう。  B・E・H・K・M・N・Oは非オラトリアのようだ。その中でもBとEは仲間らしい。  灰色回答の考察：  Eの回答のうち、『オラトリア所属』は嘘、『Bとは仲間』は本当。  Kの回答のうち、『AとCがオラトリアではない』は嘘、『E・H・Oはオラトリアではない』は本当。  Oの回答のうち、『C・D・Mは裏切り者』は嘘、『Hが裏切り者』は本当。</p>				
<p>面接の結果より、B・E・H・K・Oを監視対象とした。  出航を前にしてデビルコアについてマジックアイテムとしての側面から知識を引き出した。  【（デビルコアを）心臓に埋め込むことで、いわゆるアンデッドと似たような状態になるが、アンデッドではなく、通常の間人として動けるようになる。但し、動かし続けるのに燃料が必要で、その燃料は人間の血液。（デビルコアを）胸に埋め込む前に、人間の血を吸わせれば吸わせるほど長く稼働すると言われており、血が若いほど効果が高いと言われていた。記録によると、1200年前に、とある国の皇帝が300人の子供の生き血を吸わせたことで、500年の時を生きたという記録がある】  情報を引き出して、ウィリアムの号令で出航した。</p>				

航海	12/19 00:10~12/19 01:16
----	-------------------------

航海士と見張りのローテーションの宣言を行った。  
航海士：【ガリル・セレスティア・リーヴェ】（操舵・操帆術と測量が共にレベル4）  
見張り：【午前：リーユエ 午後：トーコ 夜間：ミュウ】（それぞれ遠視系の特殊能力あり）  
まず、測量判定があり、手間取ったものの三人目で成功した。  
そして、**四日目に船が突然激しく揺れた。**

ダイオウイカ襲来	12/19 01:17~12/19 22:46
----------	-------------------------

船が激しく横揺れして、**船員Hが海に落ちた。**船員Aによるとダイオウイカが襲ってきたようだ。  
見張りの当番だったミュウは、イカの判別に失敗したが鐘を鳴らして全員に緊急事態を告げた。  
**場所は船尾。**船員Bは絶望している。**海に落ちた船員Hの救助は船が揺れていて困難だった。**  
船尾に駆けつけて改めてイカの判別を行った。  
【**テンタクルキング Lv7 巨大なイカの化け物**で、船を襲って轟沈させてしまうことで有名な怪物。航路が開拓されている海域ではほとんど出現しないが、**危険海域では駆逐が行われていないため、頻繁に遭遇する可能性がある。**HP70/70 TP15/15 敏捷10 回避10 防14 抵12 火に弱い 8回攻撃 捕縛スキルあり】  
戦場は船尾楼なので、20m×20mの広さがあり障害物もないため大型武器を振り回しても問題はない。  
テンタクルキングは海にいるため、**地上で近づくのは5mが限界。**  
船が揺れているため、**命中と回避に-2のペナルティがつく。**（船上戦闘などでペナ軽減可能と思われる）  
PCの初期配置はテンタクルキングから5m以上離れていれば自由に配置ができる。  
  
【テンタクルキング】-5m-【地上接近限界】—————20m—————【船尾楼後端】  
└—————この範囲でPC自由配置—————┘  
  
ミュウは戦闘に先立ってホークフライトを使用した。**ラーズは海に落ちた船員Hを救助するために海に飛び込んだ。**  
左舷と右舷にカロネード砲が2門ずつ、船首にキャノン砲が4門あるが使用可否は不明。（船尾楼があるので船尾に大砲はない）  
船員は船同士の白兵戦には参加するが魔物相手の戦闘には参加しない。**イカが炎上した場合船にダメージが加わる可能性有り。**

1ターン目

ナナミが明鏡止水を宣言。ウィリアムが気合の入った貴族宣言。セレスティアは【私の勇者様！】&【素敵な物】を歌ってナナミの行動を補助しつつナナミを再行動可能にした。テンタクルキングは貴族宣言を理解できなかった。  
リーヴェがターゲッティングを行い、テンタクルキングの弱点を明らかにした。リーユエは黒の衝撃を撃ち込む。トーコは吹き矢で麻痺毒を飛ばしたが抵抗成功された。ナナミは海に飛び込んで接近すると拳と蹴りを連続して打ち込む。コンラートはポセイドネスハーケンを投擲した。ガリルはボブ・ハウンドMk-2で射撃。さらに**再行動したナナミが拳と蹴りの連打を浴びせてテンタクルキングを撃退することに成功し、戦闘終了した。**  
なお、**戦闘時の宣言や移動などにはすべて『>GM』をつけて分かりやすいように表示することと注意があった。**

## 船へのダメージ、そして

12/19 22:48~12/20 23:26

ラーズは苦勞しながらも船員Hを救助することができた。

船員Aから船にダメージがかかったことが報告された。(ダメージ80により残りHP150) 船底に穴が開いて浸水している。穴の直径は60cmほど。船員たちがバケツリレーで水を汲み出すことで何とか沈没を防いでいる。(船員たちも割と必死だった)

船底に開いた穴を塞ぐ必要があるが、補修用の木材が積まれていない。

ガリルがバンジーガムを使って取り敢えず穴を塞いでいる間に、メイスで樽を解体して得た木材を使って応急処置をすることができた。船のHPを回復するには船大工が補修を行う必要がある。

樽を一つ解体すると補修用の木材が二つ得られ、補修用の木材一つを使って船大工が一時間作業することで、ベース20+船大工レベル+器用Bの分だけ船のHPを回復することができる。

船に積んである樽の本数は30。一日航海すると、飲料水を樽2.5個分、食料を樽2.5個分消費するので、二日航海すると空き樽が10個発生する。四つの樽を解体して、セレスティアとミュウで船体の修理を行った。損傷からはほぼ回復することができた。(72回復により222/230となった)

また、ナナミとリーユエで魚を釣って食料の補給を行った。航海四日目で1.5樽分の食料を補給。海水を汲み上げて星靈術で浄化し飲料水を5樽補給した。

救助された船員Hは命を救われたことに感謝している。船員たちによると、**わざわざ船員を助けてくれるのは奇妙な雇い主らしい。船員たちは『名倉』と呼ばれて消耗品扱いされるといふ。身を挺して助けてくれた雇い主は初めて見たらしい。船員たちも頑張ると言ってくれた。ラーズは傷を負った船員たちの手当てをした。**

そして出航から四日目、ビッグセブンへの到着を翌日に控えた日、

ガリルは船員E(監視対象)から『今日は海の潮目がわるいでき。舵を北西に切っても悪くないですぜ。まあ、戯言だともって話半分に聞いてくださいでき』と言われた。

船員Hはそれだけ言うど部屋に戻った。ガリルを説得したり食い下がったりするような様子ではなかった。声のトーンも若干穏やかな感じだった。

ガリルから相談を受けたミュウがトーコとコンラートとウィリアムを連れて相談に向かった。既に深夜となっているために、船員を起こして話を聞くとして翌日の航海に支障が出る。相談の末に船員Eの進言に従って西北西に舵を切って、出航から五日目の昼頃に目的地へと到着した。(前日に釣りできていたなら、ナナミとリーユエの釣った分でさらに1.5樽分の食料の補給となったはず)

## 到着

12/21 21:23~12/21 23:38

グロフィスの指示通りに七番の船の接岸用ドックに向かう。船には船の番号をかたどったオブジェが置いてある。ドックの中には先行した海賊の船や熟練船員の船が入っているがどちらも轟沈寸前のポロポロ。本来の乗組員ではなさそうな荒くれ者たちが荷を下ろしている。確認の者に証書を見せると入港許可が下りた。滞在期限は十日間。それ以上は安全の保障はない。

ドックにいる海賊によると、海図のお陰で同じルートでカモが無防備にやってくるのを拿捕したらしい。不審な積み荷に首をひねる海賊たちだが既に買い手はついているという。荷下ろしは船員たちがやってくれている。

そこにグロフィスが登場。海賊がいると分かっているのにまっすぐやってくる間抜けには同情の価値はないという。船が無事についてもビッグセブンの海賊に拿捕されても最終的にグロフィスの手元に荷物が集まる寸法だったようだ。グロフィスから約束通り報酬を受け取った。余計なことに首を突っ込まず、何も考えずにまっすぐ帰れとグロフィスに言われる。

言えば水と食料の補給もしてくれるようだ。ビッグセブンに関わるかどうかで議論をする一行。面接の際に所属がフリーだと申告した船員たちにビッグセブンでの振舞い方を聞いてみた。

船員B『女を買うなら六番船がいいっすよ』

船員M『六番船の奴隷売買船と、五番船の賭博船辺りは比較的安全ですぜ』

船員N『盗品市が四番船にありますぜ。気を付けないと危ない場所っすけどね』

船員O『ビッグセブンでの振舞い方? あまり余計なところには出入りしないことっすね』

船員Nに捕まった人はどうなるか聞いたら、鮫の餌になるか奴隷市場で売られるという。

出所の確かなオラトリアの船員たちにビッグセブンについて聞いたら、彼らは来たことが無いという。

船員Eの姿はすでに無かった。食事は五番船でとれるらしい。

取り敢えずは子供たちを探すつもりで奴隷市場のある六番船に行ってみることにした。

<b>奴隷市場</b>	12/21 23:38~12/22 00:10
<p>奴隷市場に来てみると様々な奴隷が【パーツ単位で】売買されている。一般客の姿はあまりなく一癖も二癖もありそうな奴隷商人ばかりだ。商品は既にパーツになったものもあれば鮮度維持のために生かされているものも。パーツになった身体はどうやら垂人相手に売る食用らしい。聞き耳は上手くいかない。ちょっと見ただけでは少年少女は見当たらない。周囲からはカモを見る視線が注がれている。小綺麗な冒険者たちは周囲から浮いている。</p> <p>気が付いたらじわじわと取り囲まれているのに気が付く。どうやら、一行が一人あたり三万セレン持っているのがばれているようだ。取り囲む側はざっと見たところ60人ほど。天井から顔を出してきたりしてどんどん増えていく。危険を感じて逃亡。逃げる途中でミュウは目をくりぬかれたり手足を切り落とされたりした海賊や熟練船員たちがうめいているのを見かけた。なんとかぼろい小屋のようなところに逃げ込んだが……</p>	

<b>放言皇子と無明の狙撃手</b>	12/22 00:12~12/23 22:18
<p>逃げ込んだぼろ小屋ののっそりと大男が入ってきた。自称高貴なる通りすがりの大男は全ての事情を知っているかのよう。仕事を手伝えば助けてやるという。レオンハルトのように見えるが髪の色が違ったりしている。どうやら変装しているようだ。仕事を受けるのかバラバラのパーツになって売られるかと選択を迫る大男。</p> <p>やむなく仕事の話聞くことにすると、大男が声を上げるとすっぱり背景に溶け込んでいたかのような男が現れた。ミュウは男の方のSSとの照合を試みたが何かの妨害にあり失敗した。男の持つ隠密スキルだろうか？ その男の怪しげな歩法のせいで、うろつきまわる荒くれ男たちの追及を逃れて船の端までたどり着いた。外見はボロボロの小屋だったが、中を見るとそれなりに清掃されていて宿泊も可能そうだ。</p> <p>隠れ家の中で大男は自らレオンハルトであることを明かし、男がエドワードだと紹介した。一行も自分たちがホオヅキの冒険者だと明かす。</p> <p>隠れ家のベッドからは奴隷の少年トニーが現れた。姉のサリーに人体実験場から逃がしてもらって、レオンハルトに助けられたという。人体実験場には大量の子供たちが運び込まれ、それと一緒に国家を転覆させるほどの力を持つ魔導兵器であるルビーブラッドという宝石も運び込まれたらしい。レオンハルトはルビーブラッドを奪うついでに子供たちを逃がすという。冒険者たちにはそのための雑用をさせるつもりらしい。レオンハルトの手持ちの戦力はエドワードとホオヅキの冒険者とあと三人ほどいるようだ。（ロックたちか？）</p> <p>【ルビーブラッド 強大な魔力をため込むと言われている古代兵器。それ単体で何かする力はないが、マジックアイテムと併用することで、ある種の特異なアイテムの力を飛躍的に高めると言われている。しかし、その詳細は分からない点が多い】</p> <p>ミュウの目から見てレオンハルトは腹に一物あったり悪人のようなだったりする雰囲気には見えない。</p> <p>トニーに話を聞くと、剣王国で暮らしていたが人狩りにさらわれて連れてこられたという子供たちが何部屋にも分かれて閉じ込められているという。毎日一つずつ部屋が空になる。部屋の中が真っ赤になってお花畑になるという（それ以上は聞きだせない）</p> <p>レオンハルトには具体的な計画はないようだ。</p> <p>エドワードによると人体実験場は、普段は新手の魔法薬や麻薬、垂人同士の交配実験や人間との交配の可能性などの研究がおこなわれているらしい。エドワードは実験内容も知っているようだ。ビッグセブン側はルビーブラッドでデビルコアの強化を行うつもりようだ。</p> <p>デビルコアの取引は、レオンハルトの方が売る側でビッグセブンの総帥が買う側だった。レオンハルトは手に入る金でティガール転覆のための資金を手に入れるつもりのようなのだ。何か凄い兵器でも買い取るつもりのようなのだが——</p> <p>レオンハルトによるとティガールの在り方が歪んでいるという。ヒルデガルド本人ではない奴隷出身の女狐が帝位につこうとしていて、周囲の者たちはエリザベートも含めてそれを見抜けないでいると語るレオンハルト。ティガールを正しい姿に戻して天下布武を成し遂げるといふレオンハルトのヴィジョンは割といい加減だった。</p> <p>全員エドワードの手により船内で目立たない格好に変装させられる。少し曇ったコンタクトレンズのようなものもつけられ、鎧も絵の具で汚されて人相の悪い傭兵風のモブ悪党に変身した。続いてエドワードから三つのやるべきことを提示される。エドワードでは厄介な相手（ロックたちと思われる）がいて行動の自由が利かないようだ。元々一行を助けるのはレオンハルトのわがままでエドワードとしては反対だった。</p>	
<b>脱出経路の確保</b>	三番船の脱出口から手配した船への脱出路。トラブルを想定し、最低でも三ルート以上確保が必要。
<b>船の手配</b>	救出対象の子供の数は分からないが一時的にでも海に出ることが必要になる。乗ってきた船を三番船の船着き場へ移動でもいい。ただし、乗ってきた船だけでは定員オーバーになるという想定。
<b>三番船への侵入路の発見</b>	三番船は人体実験の船。調査あるのみ。五番船の賭場街には乞食の情報屋も多くいる。目立たないように聞き込むべし。

レオンハルトとビッグセブンの総帥の取引予定は七日後、五日後にはすべての船に数日間の退去命令が下る。取引まで子供たちが無事である保証はないが、焦ると計画が露見し子供たちが救えない。

エドワードは隠れ家を移動する先を見つけてくる予定。今は乗ってきた船（セフィから借りた船）の中ですら安全とは言えない。

エドワードの情報とこれまでの情報から総合すると、各船は以下の通り。

【一番船：武器商人】 【二番船：薬物販売】 【三番船：人体実験】 【四番船：裏医療】 【五番船：違法賭博】 【六番船：奴隷売買】 【七番船：資金洗浄】

現状で活動が可能なのは四番船・五番船・六番船。他にはなるべく行かないほうが良いとエドワードから釘を刺された。船は壊れかけたぼろ船でも直して使えば良いとレオンハルトは言っている。（ぼろ船と言えば奴隷市場で売られていた海賊や熟練船員が乗ってきた船があるが…）

エドワードによると、ロックたちは偶に会ったり出会わなかったりの腐れ縁なので気にしないで良いとのこと。

レオンハルトの奢りで五番船に食事をしに行くことになった。トニーに食事をさせるのが主目的とレオンハルトは語る。

<b>五番船で夕食を</b>	12/23 22:19~12/23 23:17
----------------	-------------------------

レオンハルト、エドワード、トニーと一緒に五番船に繰り出す。五番船には鋭い目の賭博師やみずばらしい擦れたような娼婦がうろうろしている。適当な酒場に入った。レオンハルト曰く、家臣を食わせるのは皇族の義務。

唐揚げ、ソーセージ、ドリア、ピザ、サラダ、フルーツ、シードル（林檎酒）などが出てくる。

ティガールの私掠船に乗っているのならエリザベートの私兵も同然だと言うレオンハルト。さっさと食べないと何が起こるか分からないと言っているうちに案の定、客の中にロックがいて料理の皿を持ったまま逃亡する羽目になった。ロックたちも色々と苦勞しているようで薄汚れていた。（わざと汚した風ではなく自然に汚れたようだ）

レオンハルトは追ってくるロックに振り向くと、音越えの一撃を悠々と受け止めて投げ技でロックをあっさり倒した。首と太腿をホールドしているので、フィッシャーマンズスープレックスかキャプチュードのどちらかと思われる。（風車のようにぐるぐると回しているという描写もあるので違うかもしれない）

フィッシャーマンズスープレックス	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=idxJtcHyftc">https://www.youtube.com/watch?v=idxJtcHyftc</a>
キャプチュード	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=7yMCMO3yC2U">https://www.youtube.com/watch?v=7yMCMO3yC2U</a>

ユカリとバトリシアが来る前に逃げ出した。レオンハルトは個体戦闘力は追手よりも高いものの絡まれると非常に目立つため動きが採りにくいと、エドワードは語った。

隠れ家に戻ると持ち逃げした料理で夕食の続きとなった。暴竜ファフニールが関わってくるとレオンハルトでも一筋縄ではいかないらしい。エドワードはその場にロックがいるのは承知で、レオンハルトの実力を見せるために酒場に入ったと手の内を明かした。グロフィスの取引で得た情報をエドワードたちと共有する。その日はそのまま雑魚寝をして夜を明かした。

次の日の朝はエドワードが調達してきたパンとジャムとハムとワインで朝食。グロフィスの磁石は一番船に運び込まれているらしい。レオンハルトと総帥の間の取引も一番船で行われるらしい。エドワードから、新しい拠点を用意するので現在の拠点（六番船の端）に19時に来てほしいと言われた。レオンハルトやトニーの心配については何かがあっても手切れになるだけだから心配無用と言われる。一行に何かがあった時は可能な限り助けに行くが無理と判断したら見捨てるから、慎重に行動することと念を押された。

チーム分けについてGMに確認すると、不可能ではないが有事の際に危険と回答があった。まずは五番船の賭場へと向かった。

## 賭場の朝

12/23 23 : 23~12/26 21:36

賭場に来てみると、まだ朝早いので営業が始まっていなかった。(九時開始)

開店前の店先にろくでなしたちが煙草を吸っている。裏通りの食堂が少し賑やかなようだ。

四人の女ギャンブラー(A~D)の会話が聞こえてくる。そのうちの一人(C)の言葉遣いが少し違っていたので観察したら、貴族的な風貌をしているものの、こんなところにいるのだからろくでなしギャンブラーだと思った。

そのまま食堂へと向かう。カウンターのみ小さな店だが、黒服や娼婦や握り飯を食べているサムライ風の男がいる。店のおっちゃんも散々切った張ったしていたという雰囲気。メニューはパンとスープくらいだが作れる料理は何でも作るという。

おにぎりやみそ汁から始まって炒飯やポテトサラダ、ツナマヨ丼などにも対応している。腕も一流のようだ。

・この店は仕事が終わった娼婦や黒服が食べに来る店。ビッグセブンの下っ端たちの憩いの場。静かに食事できるのが売り。深夜には賭博客にも食事を出すらしい。

・サムライは善人そうには見えない旅の素浪人風。得物は太刀。フワ・サイズウと名乗った。まだ来てから七日程度。これからきな臭くなると言っているが、内容までは語らなかった。ミュウがサイズウの分だけ10セレンで奢った。

・危ないところに近づかなければ問題はない。大男(レオンハルト?)と冴えない痩せた男(エドワード?)の二人連れには関わらない方がよい。

・賭場ではかけ事ならブラックジャックやポーカーや丁半賭博など、ギャンブルなら大体のものはあるらしい。

・賭博で儲けることができるのは一部の決まった客だけになっている出来レース。たまに豪運かつ案内人無しでビッグセブンに潜入できるような腕利きが儲けることができる。まじめに働くのが一番。

・船の案内図はないが案内人を雇うことは可能で、ビッグセブンに来る者は大体案内人と来る。案内人無しでうろつく者は珍しい。

案内人ならゴル(黒服)を雇うことが可能。ゴルが善人になるのはこの店での食事だけ。

・使えそうな廃船なら、最近拿捕された船がある。修理しないと航行は無理そう。

・娼婦たちはさらわれてきて無理矢理働かされている。娼婦として働きたいと言ったら何をされるか分からない。

・賭場が賑わうのは夜。朝からやっているのはギャンブル中毒者だけ。

・五番船の食堂から四番船へは30分で移動可能。

四番船の盗品市に移動した。

## 盗品市1

12/26 21:55~12/27 22:34

盗品市には様々なものが並んでいる。盗品以外にも武具などが置いてあった。怪しげな爆発物や妙な細工物もある。

まずは武具屋に入る。

・最強の盾と最強の矛を売っている店主はツッコミ待ちだったが、ツッコミを入れない一行に不満気。

・思わず無敵の盾を500セレンで買ってしまったミュウ。(ノーマルのスモールシールド)

・オリハルコンタワーシールドを探していたウィリアム。店主に聞けば、有ったの다가売ってしまったとのこと。

・実際には、四番船の在中護衛部隊のリーダーをしているムハンマドという男に出世払いと称して奪われたらしい。

・護衛部隊には怖いから逆らえない。彼らは商品を持って行く。カジノでイカサマをする。娼婦をさらう。などなど好き放題。

そんな悪口を叩いていると、ムハンマド本人がやってきた。いかにも悪い感じでターバンを巻き顔には傷がある。取り巻きは5~6人ほどの傭兵風。ろくなものじゃない。ムハンマドは代金を払いに来たと、商人に10セレンを支払う。飲んで使ってしまったと商人を馬鹿にしているが、商人は逆らえない。ムハンマドは俺たちは護衛部隊でコトを構えるとビッグセブンを敵に回すと一行を威嚇。これは本当なようだ。

コンラートがムハンマドを呼び止めて、ムハンマドが四番船の護衛部隊の隊長であることを確認した。

・護衛部隊はビッグセブン直属の防衛部隊(本営を守る官憲のようなもの)で内部の防衛線力の要。彼らに逆らったらビッグセブンでは商売にならないので、理不尽にも耐えるしかない。

・外部からの敵に対応する外征護衛部隊というのが別にいるようだ。彼らは海賊の指揮をとったり外からの敵を排除する。船を拿捕してくるのも彼ら。(入港時に見たガラの悪い連中か?)

・商人たちはビッグセブンでしか生きていけない事情がある。

・ムハンマドは腕が立つからこそ人格が悪くてもビッグセブンで雇われる。腕が立つからこそ人格に問題がある。

・護衛部隊には目を付けられないようにした方がいい。

取られたものはもう仕方ないから諦めるといふ商人。ウィリアムからの申し出にも面倒ごととは嫌だからと断った。

続いて雑貨や謎アイテムを売っている怪しげな店にやってきた。真っ黒な肌に白い歯の怪しげな店主が片言の共通語で商売をしている。

水につけると十秒後に爆発するガムを売っている。口に含んでしばらく噛んでから吐き出すと爆発するという手順が必要らしい。捏ね（噛み噛みし）ないと爆発しない。

試してみると、樽が粉々に吹き飛んだ。ペース20+固定値10で半径1mにダメージが及ぶ爆弾になるようだ。

ミュウが10個を1800セレンで購入した。護衛部隊はこの爆弾のことを知らないらしい。

コンラートは義手に興味を持った。精巧にできていてタウルス用まであった。スイッチを押して10秒後に爆発するらしい。腕を切断しなくても、取っ手がついていてそれを握ることで使うことができる。半径10mにペース30+12（固定値）のブラストダメージ。片手で2000セレン。コンラートが左右3個ずつ計6個を購入した。

ガラクタ市の中でガリルは見覚えのあるカトラスを見つけた。宝石が特徴的な位置にはまっている。行方不明になっていた船員Eのものだった。800セレンで買い取ったガリル。

商人にカトラスの出所を聞いてみると、裏切り者からはぎ取ったという。獲物を海域に引き込む仕事をするはずが逆に逃がしたからだという。正午に五番船で処刑される。今は11時前。処刑場への移動で50分ほどかかってしまう。時間がない。

処刑場は広場のようなところを護衛部隊が勝手に使っているようだ。五番船は一般客も多い。

スリの被害に遭いつつ五番船へと移動する。

## 処刑場

12/27 22:41~12/29 01:34

五番船の処刑場へと移動してきた一行。

棒に乗り台がついていて、その上に裸で縛られた海賊Eが油をぶっかけられている。その横にはぼろローブを着たテレサが並んで油をぶっかけられている。

十分に油をかけるようにと中間に指示を飛ばしているムハンマド。ムハンマドは海賊Eのことをトゥマシッドと呼んでいる。

周囲の客は海賊Eに同情的な反応。脱出経路はいくつかありそうだが行き当たりばったりになりそうな印象。

広間に人の壁があり警備の隙を突いたり攪乱をするのは難易度が高い、目くらましが必要そうだ。

テレサの罪状は、酒場で下働きをしていたらガーリック（人名。ムハンマドよりも上位者のようだ）の頭に皿をひっくり返したところヅラであることが露見したというもの。

ムハンマドには男ばかり20人ほどの取り巻きがついている。

地面に衝撃を与えるスキルは地面そのもの（甲板か？）が破壊される可能性がある。

処刑場の真上15mの位置には巨大な帆がある。ガスガンで帆を落とすことはできそう。帆は支えているローブを切って落とせば大分邪魔になりそう。ローブは簡単に狙えそうだが頑丈なので、防護点5、耐久力10ある。一度に墮とすなら15ダメージが必要になる。構造物破壊ルールが適用される。

飛行してマストを落とそうと思うと、とても目立ってしまう。バットウィングで飛んで帆を留めているローブを切ることは可能だが、存在が確実にばれてとても目立つ。

煙玉を船員Eを中心に爆発させれば半径10mが効果範囲なので目くらましをするべき範囲には十分。

油の入った樽が置かれているが、広場中が油まみれになっているので、火をつけたら船員Eもテレサも巻き添えになる。

良さそうな逃走ルートに当たりをつけるのは可能だったが、一行の中のシーフが全員失敗した。

武器をマストに向けている一団がいるとばれるかどうかは騒ぎにならないと分からない。ムハンマドの仲間たちの実力もまだ不明。

周囲の観衆は数えるのが面倒になるくらいの数がいる。帆を落としても観衆を巻き込むことはなさそう。

マストから15mの位置まで近づくことは可能だがかなり接近しないとイケない。

広場からの出口は八方向あるが、全て観衆が取り巻いている。

縛られたトゥマシッド（船員E）とテレサを火刑にするために、ムハンマドの持つたいまつに部下が火打石で火をつけている。

煙玉と火と観衆とマストから帆を落とすことにより発生するリスクを検討する一行。

ムハンマドの部下たちも火がマストに燃え移らないようには気を付けているようだ。

広場の北東部のマストの裏が人が少ないようで、その方向からテレサと船員Eの方に近づくことになった。

結局ガム爆弾を爆発させて、同時にミラーージュで幻の炎を発生させて観客をパニックにさせてムハンマドたちの気を引くことにして、作戦を開始する。

まずコンラートがガム爆弾を爆発させ、ガリルが爆発音に紛れてミラーージュを詠唱して幻の炎を発生させた。ウィリアムは爆発音を録音。ムハンマドが手下の様子を見に行かせようとしたタイミングでトーコがトゥマシッド（船員E）の辺りを中心に煙玉を炸裂させた。

観衆がパニックを起こして逃げ出し、ムハンマドの部下たちは火の元と思われる方向に急ぐ。

ウィリアムは爆発音を再生しようとして失敗。(ファンブル) トーコは煙の中に入りトゥマシッド(船員E)とテレサの縄を切りに行く。

爆発と煙とタイミング、逃げていない足音から大体の状況を察したムハンマドは煙玉の煙の中にあるトーコに正確にシャムシールを投げつけた。ムハンマドは音で状況把握ができるようだ。トーコは切り払いに失敗。プロテクトアミュレットを割ることで難を逃れた。しかし、シャムシールの着弾音によってなのか、ムハンマドは煙玉の中に侵入者がいることを確信した。しかし、ムハンマドの手下たちは煙の中で状況の把握ができない。

爆弾を爆発させたコンラートとガリル、セレスティア、ナナミ(及びラズとリーヴェ)はパニックになった観衆に押し流されるかのように広場から離れていった。一方広場に残ったのはトーコとミュウとリーユエ、テレサにトゥマシッド。そしてしんがりを受け持つウィリアムもまだ残っていた。

ミュウとリーユエが帆を留めているロープを撃つことで帆を落とすと、不意を突かれたムハンマドの部下たちが大混乱に陥った。その隙についてトーコとトーコに抱えられたテレサ、全裸のトゥマシッド(船員E)、ミュウ、リーユエは脱出に成功する。

最後に残ったウィリアムも煙に巻かれた状態でエンチャントハイドをかけて姿を消すことで脱出に成功した。

ガリル、コンラート、セレスティア、ナナミ(及びラズとリーヴェ)は六番船の奴隷市場に逃げ込んだ。

一方、トーコ、ミュウ、リーユエと船員Eとテレサは四番船の盗品市に。ウィリアムも盗品市の別の場所にエンチャントハイドを継続した状態で逃げ込んでいた。

## 撤退行動

12/29 01:36~12/29 02:04

盗品市で全裸のトゥマシッド(船員E)とテレサは油を落として盗品市で買いこんだ服に着替えた。

トゥマシッドは大切なカトラスを探したいと言うが、これは既にガリルが買い取っていた。その事情を話すとトゥマシッドは返してくれば今は持ち合わせがないが必ず礼をすることを約束した。聞けば、つい先日まで船上護衛部隊の隊長だったとか。

テレサは新大陸に行くようにと、召し(上位者から呼び寄せられること。この場合の上位者が誰なのかは不明)があったので新大陸に向かっていたが、海賊に捕まって炊事をさせられていたらしい。

ここで、ウィリアムが合流する。まずは一旦全体で合流するために隠れ家に向かうことになったが、六番船に行くにはどうしても五番船を通る必要がある。そこで、トゥマシッドの伝手を頼って四番船の端の船着き場にいるラット爺に小船を出してもらって無事に六番船の隠れ家に移動することができた。一応追跡はなかったようだが…

一方、ガリル、コンラート、セレスティア、ナナミたちは、奴隷市場は避けて隠れ家に戻った。エドワードたちは不在で、ミュウたちよりも早い到着だった。

何とか一行は隠れ家で合流することができた。

隠れ家に戻った一行は救出したトウマシッド（船員E）から話を聞くことになった。レオンハルトやエドワードはまだ戻ってきていない。

- ・一行を助けたのは、トウマシッドの部下を助けたから。ホオヅキの冒険者の船に乗り込んだのは、新しい護衛団（ムハンマドたち）が雇われてトウマシッドたちの部隊（旧護衛団）が用済みになったため。船員B・H・K・Oはトウマシッドの部下だった。（左遷のようなものか）他の仲間たちも、名も無き名倉としてどこかの船に潜り込んでいるだろう。（今のトウマシッドには元々の部下たちがどこで動いているかを把握する力もない）
- ・（ムハンマドの人格を見れば不思議に思えるかもしれないが）トウマシッドたちはムハンマド（たち？）と正面から正々堂々とやりあって負けた。ムハンマドは実力はもちろんのこと、底知れない洞察力と察知力があるという。単に強いというだけの男ではない。
- ・護衛団の座をかけての勝負は20~30の頭数を揃えたうえで、直接対決。（集団戦か？）
- ・護衛団から格下げとなってオラトリアの船をおびき寄せる任務にも失敗したトウマシッドは処刑もやむなしとあきらめの態度。
- ・それまでのトウマシッドたちは『それなりに平和にやっていて、ボス（ビッグセブンの総帥）からの信頼も厚かった』。
- ・護衛団に必要なのは人格ではなく（ビッグセブンの総帥の命令に）忠実に動く猛者たち。命令を聞き、言われたとおりに確実に破壊をすることが重要。ムハンマドたちはそれができると総帥たちに判断されたようだ。
- ・ムハンマドは一般の住民には横暴だがボス（ビッグセブン総帥）の命令には忠実で確実にオーダーをこなす。護衛団としては非の打ち所がない。
- ・ムハンマドと幹部以上（ビッグセブンの総帥と七人の船長）との折り合いは悪くない。たちが悪いいつ裏切るかもわからないが。
- ・ムハンマドに不満を持っている連中はいるが、ムハンマドには勝てる見込みがなく幹部も怖い。
- ・ビッグセブンが移動するときには護衛船団が離れるのは前々からのこと。どこに移動するかも教えてもらえないし、移動中は（ビッグセブンの七隻の）船団に戒厳令が敷かれて部屋から外に出られない。
- ・移動中は船上護衛団（ムハンマドたち）が警邏をして、部屋の外に出たり座標を調べている者たちは問答無用で殺される。だから、移動中はどこかの船室で息をひそめるしかない。雨戸の閉め忘れすら制裁の対象となり、裏切り（違反行為全般か？）に対する略奪行為が認められているので、ムハンマドの稼ぎ時になっているので徹底的に行われる。決まりを守って部屋の中にも略奪の被害に遭う場合もあるようだ。
- ・移動中に船を用意するのは難しい。移動中は息をひそめるのが絶対条件。賄賂も通じない。
- ・三番船の人体実験ラボに入るには、船底から実験用の水槽に海水を取り込む口があり、そこから侵入が可能。入口までならトウマシッドに案内をしてもらうことは可能。しかし、トウマシッドも人体実験ラボの中がどうなっているのかは分からない。出口は三番船の中央付近のゲートでいつも護衛団が警備を固めている。人体実験ラボから子供を連れて脱出するなら強行突破するしかない。片道一方通行。子供を連れて脱出するなら、強行突破はゲートを突破する時だけにすべき。
- ・協力者への伝手はあるが、トウマシッドに何をして欲しいのか具体的な計画を説明する必要がある。
- ・トウマシッドの知り合いに三番船の中に詳しい者はいない。ムハンマドであっても三番船の中には入れないはず。（トウマシッドは語尾を濁した）
- ・ビッグセブンから脱出することに手を貸せるほどトウマシッドに力はない。ビッグセブンから子供たちを根こそぎ脱出させるには相当な力を持つ連中の力を借りる必要がある。
- ・グロフィスはトウマシッドの腐れ縁。グロフィスの動向は四番船の乞食に聞けばある程度分かるかもしれない。
- ・実力者なら七大幹部や賭場を仕切っている男など色々なが、誰でも協力を取り付けられるとは思えない。それだけの裁量権を持つ人間は限られる。
- ・マタオキール・ボッキーという名（おそらく偽名）のインチキ神父なら金次第で動くが癖が強い。金が好きでホモ。五番船の賭場で飲んだくれたり通行人から金を巻き上げている。色黒でやせ細っていて、色眼鏡をかけてローイ派の神官服を着込んでいる。
- ・ビッグセブンの飲料水は樽管理されているが、雨水を取り込む貯水タンクはそれぞれの船に設置されていて生活用水に利用している。水に細工すると子供が大勢死ぬことになるとトウマシッドに釘を刺された。
- ・ガーリックは五番船の総括で七大幹部の一人。元々のトウマシッドの雇い主。ハゲだが、それを指摘した者は肅清するという粘着質の人。
- ・トウマシッドはビッグセブンのボスに会ったことがない。実在を疑うレベルで姿を見せない。今回の取引も怪しいものだとトウマシッドは語った。
- ・トウマシッドは船内の連中にはある程度顔が利くから、困りごとがあれば力になるという。
- ・まだトウマシッドから聞きだすべきことが色々と抜けているようだ。

リマインダー	1/14 21:14~1/14 21:19
<p>再開するにあたってGMから軽い状況説明があった。重大なヒントが入っている可能性もあるので原文のまま収録する。</p> <p>現在まとめて書かれている通りですが、三番船に乗り込むために、いろいろと情報を聞いているところです。</p> <p>基本的な場所は分かっていますが、脱出等にやや不安が残ります。</p> <p>強行突破で3番船の出口に出てきても、子供の誘導と脱出、船の外で逃亡する手段が多少貧弱です。</p> <p>確実に船外に逃亡するには、ある程度の有力者による協力、及び、脱出用の船の手配が必要になります。</p> <p>マタオキール・ポッキーという名前の似非神父が金次第では動くホモとのことですが、協力を仰げるかどうかは不透明。</p> <p>トゥマシッドは、舟渡しなど、色々コネを持っているようですが、どのあたりに対して影響力があるのかが不透明です。</p> <p>さらに言うならば、エドワードや現在、確保している身柄は、トゥマシッドと、使い道があるのか不明なテレサだけになります。</p> <p>レオンハルトと合流できていないため、新しい隠れ家についてもまだ確保できていません。</p>	

トゥマシッドはかく語りき2	1/14 21:32~1/15 22:54
<p>トゥマシッドは計画の内容が具体的に分からないとどこで力が貸せるのか分からないと言う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三番船の船底の海水取り込み口までの水中移動の時間は、近くまで小船で行けば30秒ほどで済む。</li> <li>・（子供を）大量輸送してビッグセブンそのものから逃げ切らなればビッグセブンの有力者でも難しい。唯一可能性があるならグロフィスクら이다。</li> <li>・（載せて逃げる）人数にもよるが、最低でも二隻の船と乗組員が必要となるが、逃げる気満々の船が停泊していたら護衛部隊にばれるから定位置に船を停めておいたら有力者の協力が必要になる。</li> <li>・トゥマシッドは左遷された身だから、有力者は取り合ってくれない。唯一マタオキール神父なら金次第と分かる程度。</li> <li>・ビッグセブンの中で使用する小型船は色々積まれているが管理が厳しく、奪ったり買い取ったりはできない。乗ってきた船も厳重に抑えられている。</li> <li>・三番船に捕まっている子供の数は、とにかくたくさんだという程度にしか分からない。生きているのかも定かではない。</li> <li>・船団の行き先を決める船は総帥がダイスで決めているらしい。</li> <li>・（拿捕されたスクラップ船くらいしか使えそうにない）船大工なら伝手はあるが、船を買い取って修理可能なところまで移動させるにはマタオキールの協力が必要になる。</li> <li>・スクラップ船を使うにしてもビッグセブンが移動を開始したら退去させられる。だから急ぐ必要がある。</li> <li>・スクラップ船をどう扱うか、詳細は有力者と交渉してからになる。</li> </ul> <p>マタオキール・ポッキーとの交渉のため移動を考える一行。移動にトゥマシッドとテレサを連れて行くと、リスクが増す反面利点もありそう。トゥマシッドには変装の心得はない。ミュウとリーユエで全員変装していくことにした。変装作業中にエドワードが戻ってきて、新しい拠点に移動することとなった。</p>	

新居はスイートルーム	1/14 23:26~1/15 22:57
<p>エドワードに案内してもらった新しい拠点は四番船のマストの上にあるスイートルームだった。見張り台があり高級宿の一室になっている。スイートルームに入るのは有力者の関係者と相場が決まっているので、よほどのことがない限り押し入れられないだろう。この部屋は今のところは安全で、安全で無くなった時はエドワードから知らせが入るようだ。窓からは屋間ならビッグセブンの甲板を見渡すことができるだろう。</p> <p>エドワードはマタオキールについての情報は持っていなかった。彼のいる周囲で情報を集めれば何か分かるかも？ エドワードにもビッグセブンの有力者とのコネはなかった。</p> <p>トゥマシッドに対して、細かい計画がないのは雇用者も細かい計画を立ててないからだと説明をしておいた。</p> <p>この拠点は安全地帯として扱って良く、NPCを置いておいても危険にさらされることはない。</p> <p>トゥマシッドは五番船の案内はできるが顔を知られているから余計なトラブルに巻き込まむかもしれない、</p> <p>トゥマシッドによれば、マタオキールは五番街のカジノで飲んだくれてるか、いなければカジノで聞いて回れば見つかるという。</p> <p>NPCは同伴させずに、カジノに行ってみることにした。</p>	

夜のカジノ1	1/15 23:13~1/16 0:32
<p>カジノに来た。色々な種類のギャンブルが行われている。娼婦や黒服も多い。            城内は薄暗く、七色の光で照らされ、俗な音楽で会話もままならない状況。護衛部隊の影は見当たらない。            あらかじめ勝てないという情報は得ている。遊ぶ前に神父を探すこととした。            奥の方で人生相談めいたことをしながら客から金を巻き上げている神父がいた。            やせぎすの（おそらく）黒人で、色眼鏡をかけて神父らしい黒い服に黒い帽子をかぶっている。歯は真っ白で宝石の指輪をたくさんつけていてグレートワンズっぽいロザリオをぶら下げている。            神父の方の会話に耳を傾けると、客をギャンブルにのめり込ませる誘惑のような怪しげな詐欺っぽいお説教をしていた。            ウィリアムがその神父に話しかけた。救いたい人がいると持ち掛けるが、ギャンブルでたくさんお金を稼げばいいと、なかなかこちらの要件を言い出す隙が無い。神父にマタオキールを探しているという、自分がマタオキールだと名乗った。            トーコがウェイターに神父がどんな人かを尋ねてみると相談に来る輩を丸め込んで大損をさせる胡散臭い神父だが、たまに真面目な話もするという。神父については娼婦や黒服の方がよく知っているという。            神父と話をするために、いったん神父について情報を集めようということになり、食堂に移動した。</p>	

夜の食堂	1/16 0:35~1/16 21:33
<p>食堂に来ると、店主は座って煙草を吸っていた。            店主にマタオキールのことを聞くと、いろいろ胡散臭いことをして儲けているが悪人ではないという。            ポッキーの教会はすぐ近くにおんぼろだがあるという。娼婦が祈りに来ているらしい。            黒服は勤務時間で娼婦は稼ぎ時なので今は不在。</p>	

夜のカジノ2	1/16 21:49~1/16 22:43
<p>ウィリアムが試しにポーカー勝負をしてみた。全く勝てないわけではないが最終的に5000セレンをすった。しょぼくれた感じで酒を飲んだウィリアムだが、特に絡んでくる人はいない。            コンラートも勝負をしてみたが黒字に終わった。マタオキールと会話してみたが、ひたすら勝負をするように誘導された。            男娼はいないようだ。            ポッキー神父に相談しに行く人が絶えないのは彼くらいしか相談に乗ってくれる人がいなさそうだからのようだ。ポッキー神父には変わった様子は見られない。            女性客の勝ち負けを観察してみたが特に法則性は見られない。            娼婦は客引きをしている。トーコが声をかけてみたが性癖を見破られたうえで相手にされなかった。何かを嗅ぎまわっているのがばれたようで警戒されてしまった。            羽振りの良さそうな金持ちは、胡散臭い神父の言葉など信じず、カジノの勝負は時の運だと語っている。金持ちは神父の動向には関心がない様子。</p>	

隠れ家に戻る	1/16 22:43~1/16 23:55
<p>カジノでの情報収集が不調に終わり、戻ってきた一行。            話を切り出すこともできなかったという一行にエドワードとレオンハルトは言った。            エドワード『相手が何者であろうと、協力を仰がねばならない以上、はっきりとやってほしいことを切り出すしかないのでは』            レオンハルト『事情なんぞ話さずに、船の隠し場所なり手配なり、注文を言えばいいだろうが。注文もせずに茫漠と話しかければ、そりゃ適当な返事しか返ってこないだろうが。お前達が何を思ってそんなことをするのか気になれば、向こうから尋ねてくるだろう』            そうでないパターンもあるとレオンハルトは付け加えた。            エドワードは船着き場の状況は知らないようだ。夜間に船着き場を見に行くのはやめた方が良いと言われる。            用意する船のサイズは商用キャラックや武装キャラックくらいあれば問題無いと言うエドワードだが、乗せる子供の人数にもよると言う。            そこでとりあえず寝ることになった。</p>	

隠れ家の朝	1/16 23:55~1/17 21:22
<p>朝6時に起床した。四番船の船着き場には小舟があるだけで大型の船はなかった。</p> <p>七番船のドックは隠れ家からは見えなかった。トゥマシッドの知り合いに小船を出してもらって七番船のドックを外側から見るのは可能。乗ってきた船を回収して隠しておくにはマタオキールなどの有力者の協力が必要そうだ。</p>	

マタオキールの教会	1/17 22:00~1/17 23:01
<p>食堂の近くにマタオキールのみずぼらしい教会があった。周囲は浮浪者もいて貧民街のような雰囲気。グレートワズズの大きな聖印があって、中では娼婦たちが座って祈っている。教会の中ではあまり話ができなさそう。</p> <p>礼拝の形式はとっておらず、常に二三人の子が入れ代わり立ち代わり祈りに来ている。</p> <p>マタオキール神父は何も言わずに微笑んで座っている。様子はカジノにいた時とあまり変わらないが祈りに来た子を茶化す様子はない。リーヴェが神父を教会の外に連れ出して話をする事となった。</p> <p>固有名詞を使うことなく、三番船に囚われた子供たちを助けるという目的を神父に伝えたリーヴェに神父の態度が胡散臭くなくなった。</p> <p>『時が満ちたように見える。しかしまだ見ていないかもしれない』と言った神父は問いかけをした。</p> <p>『不完全とは何か。世に生れ落ちるとは何か。比翼の鳥は欠けたものか。鳥でありながら地を這う者は敗者か。心と体の食い違うものをあなた方はどう見られる』</p> <p>この問いに答えられる者を連れてきたら協力しようと言う神父。金のあるところで待つと言う神父を残して、いったん隠れ家のテレサの元に一行は戻った。</p>	

食っちゃ寝シスターと伝説の聖騎士	1/17 23:04~1/17 23:58
<p>一行が戻ってくるとテレサは食っちゃ寝の体勢。</p> <p>リーヴェがマタオキール神父から投げかけられた問いを投げると、テレサは彼女なりの考えをチラ見せした。マタオキール神父の問いは『グレートワズズ信仰問答119番』というもので、長らく神学論争のとなっている問題であり完全な正解は公示されていないという。テレサなりの回答はあるが、それはグレートワズズ的な正解ではありえないという。</p> <p>テレサはかつてこの問いに完全に答えた聖騎士の話をした。聖騎士の名前はミハエル・ガールウィ。最高位の聖騎士でゴッドハンドの候補でもあったらしい。彼は『アインハッドの惨劇』という事件を境に表には姿を見せなくなったらしい。</p> <p>【アインハッドの惨劇 25年前の事件。とある王侯貴族が、自らの子供を救うために、2000人の子供を虐殺した事件。デーモン・コアと呼ばれる恐ろしい呪いのアイテムを用いる為に行われたもので、これは阻止できなかった。事件に対応した聖騎士ガールウィは数千の子供の屍を一つ一つ火葬した後、姿を消したという】</p> <p>テレサは聖騎士ガールウィが生きていたとしたら、案外近くにいるかもしれないと言い、その聖騎士が信仰を失っていることはあり得ないとも言った。</p> <p>ミュウはエドワードにフワ・サイゾウと会ったことを伝えた。エドワードは情報に礼を言い、役者が揃ってきたと豪快にレオンハルトは笑った。レオンハルトは、サイゾウを部下になりたがっている男だと評した。</p> <p>エドワードたちはロックたち三人組から身を隠しながら取引の時間を待っている状態。一番船での取引までは暇。三人組が中途半端に優秀なので完全に動きを読み切れないので迂闊に動けないとエドワードはこぼした。</p> <p>聖騎士ガールウィがグロフィスだと判断した一行は四番船の乞食からの情報収集を考える。トゥマシッドによると、ビッグセブンの乞食はネットワークのように繋がっているのでどの乞食に訊いても大体同じような話が得られるらしい。トゥマシッドに同行してもらって乞食との話を通してもらうことにして一行は盗品市に向かった。</p>	

## 乞食に訊け1

1/18 0:16~1/18 22:29

トゥマシッドを連れて乞食のところにやってきた一行。

コンラートが乞食に食事代を恵むと、まずトゥマシッドとの会話が始まった。

乞食は、護衛がトゥマシッドでないと安心して暮らせないという、ムハンマドと仲間たちはこの船の歯車を何も分かっていない、暴力だけ強くても護衛は務まらないという。トゥマシッドを救ってくれた一行には感謝するが生活がかかっているので情報の対価は取らせてもらうという、

さっそくグロフィスの居場所を訊くと二番船に滞在しているという。乞食たちは最初は別の名前と呼んでいたようなので、その名を確かめると【ミハエル】だった。姓は知らないが高名な聖騎士だったということは確かなようだ。グロフィスとミハエル・ガールウィは同一人物だという可能性は高くなった。次の船のルートを決定するのが二番船になったようで、グロフィスは二番船に荷物（磁石か？）を持ち込んでいるらしい。

ロックたち三人組の居場所を訊くと、すぐ近くの屋台でヌードルを啜っていた。乞食に偽情報を流してもらうことはできそう。

トゥマシッドに二番船に潜入する危険について確かめると、エドワードと一緒に二番船に潜入することもできるだろうと言う。エドワードは三人組の目があるので外には出たがらないが、エドワード無しで二番船に潜入するのはかなり難しいようだ。

トゥマシッドの予想ではグロフィスはおそらく二番船のいくつかある取引用の倉庫のうちの一つを借り切っているはず。その倉庫の近辺の乞食に聞けば荷物（荷物にはボルテッカ商会のマークが描かれているので分かるはず）の流れで分かるだろうという。使われそうな倉庫の候補は、隠れ家から見えるのでトゥマシッドが教えてくれるという。（どの辺の倉庫が使われるか分かっていたらエドワードも動きやすいはず）

ムハンマドの弱みや居場所については分からなかったが、顔を真っ赤にして方々で誰か（おそらく顔ばれしているPCとトゥマシッドとテレサ）を探しているらしい。

三人組は乞食たちから情報を買うわけではなく、脚を使って苦勞して聞き込みをしているようだ。

基本的に七大幹部は自分の船を離れないらしい。リーユエは魔術でレオンハルトに化けても即死はせずに済むと思った。

ヌードルを啜っているロックたち三人組に話しかけるメリットがあるかもしれないと思い、隠密行動が得意な人間で近づいてみることにした。

## ヌードルの屋台にて

1/18 22:50~1/18 23:47

ガリルは屋台に入って即座に顔ばれした。

三人組に対して駆け引きを試みたガリル。

協力が欲しいならそう言えと三人組に言われたガリルだったが、はっきりした回答を避けた。

ガリルがユカリに所在を探られないようにボディチェックをした一行だったが――

## 発覚

1/19 0:07~1/20 21:39

隠れ家に戻るのをユカリに追跡され、隠れ家が三人組に発覚した。

新しい隠れ家を確保するまでエドワードがかかりきりになる。

今晚（8日目）の20時頃に旧隠れ家で再合流ということになった。

トゥマシッドもテレサもエドワードが連れて行き、二番船の倉庫の並びを写真記憶する時間すらなかった。

乞食に訊け2	1/20 21:46~1/20 23:56
<p>再び四番船の乞食のところに行き情報を収集した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三番船には船と船とを繋ぐ船橋を通して普通に移動できる。(もちろん安全ではない)</li> <li>・船は基本的に番号順に並んで円環を形作っている。七番船からは一番船にも渡れる。</li> <li>・ムハンマドたち護衛部隊は縦横無尽で警備状況は分からない。</li> <li>・トゥマシッドが護衛隊長に返り咲く方法は分からない</li> <li>・ビッグセブンの警備を仕切るのはムハンマドたちだけ。ただし、船の内部に踏み込むと、それぞれの船ごとに雇われている護衛がいるらしい。詳細は不明。船内の治安は非常に悪い。</li> <li>・三番船はトゥマシッドがある程度は護衛で出入りしていたが、三番船は特に秘密主義が徹底していてどんな実験がされているか分からない。三番船に入ったことがあるのはマタオキール神父くらいしか乞食は知らなかった。</li> <li>・四番船にラットという名前と呼ばれる者はたくさんいる。船着き場にいるラット爺は『渡しのラット』と言えば分かるようだ。乞食に船着き場のラット爺を紹介してもらった。</li> </ul>	

船着き場（四番船）1	1/21 0:03~1/22 23:27
<p>船着き場のラットから話を聞いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(三番船の実験エリアからの脱出口である)『ゲート』はブリッジを渡り切った奥の方にある。外からは見えないようだ。</li> <li>・二番船に移動することは可能だが、乗ってからの安全は保障できない。</li> <li>・グロフィスは渡し船に何度も乗せた。最後に乗せたのは二~三日前に『アホ共に報酬を支払う』と言っていた七番船に移動するとき。グロフィスを二番船まで乗せたことはない。(一行に報酬を渡す時と思われる。七番船から二番船へ移動するなら四番船を通ると遠回りになる)</li> <li>・三番船の船着き場に入れるのは(三番船の)関係者の船だけ。</li> <li>・三番船を遠目に見るのは所要時間1時間くらいで可能。(四番船の船着き場からは見えない)一番船に向かうことも可能。七番船に行くことも可能。二番船を見に行くのは所要時間2時間くらいで可能。(すべて安全だとは言っていない)</li> </ul>	

やるべきことを整理した	1/21 0:52~1/21 0:58
<p>現在やるべきことはいくつかありますが</p> <p>目標：グロフィスをマタオキール神父に合わせる。</p> <p>小目標：2番船への到達</p> <p>ミッション：安全に二番船へ到達する方法を探すこと。</p> <p>ミッション2：グロフィスの現在行っている事を調査し、把握すること。</p> <p>という感じになっています。</p>	

乞食に訊け3	1/22 23:31~1/23 0:45
<p>乞食に話を訊きに戻った。これまで話を訊いた乞食とは別人。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グロフィスは七番船で何かをした後一番船経由で二番船に移動した。</li> <li>・二番船や七番船へ移動する最も安全なルートは渡しのラットに小船に乗せてもらうこと。</li> <li>・グロフィスはよく賭場で遊んでいた。金払いが良く、面識のある娼婦も多いだろう。</li> <li>・グロフィスは取引の時以外は一人で行動する。グロフィスが六番船に行ったという情報は無い。四番船で買い物をしたかどうかは分からない。</li> <li>・乞食は賭場には金がないので入れないから、賭場の情報は噂程度しか持っていない。</li> <li>・グロフィスが羽振りが良くなったかどうかは分からない。金を得たとしたら分かるのは七番船でだろう。七番船でコネを作れば分かるかも？ 乞食では七番船でのコネ作りにまで協力はできない。</li> <li>・二番船は薬物取引船なので、(おそらくヤク中で)発狂している連中がうろついていて危険。</li> <li>・七番船は洗浄された資金を狙って強盗がうろついている。</li> </ul>	

盗品市2	1/23 1:03~1/23 21:42
<p>爆弾商人の店は消えていた。今日はここで露店を開いてはいないようだ。近くに乞食はいない。</p> <p>その時に売られていたのは、財布やアクセサリなどのガラクタ。特に目に付くものは売られていない。</p> <p>盗品市界限ではグロフィス（ミハエル含む）の名はあまり聞かないようだ。外見がグロフィスに合致しそうな人の情報もなかった。</p> <p>盗品市は商人ごとに売り物を出せない日があることもあり、場所も基本的に早い者勝ちで決まる。</p>	

昼間食堂	1/23 21:55~1/23 23:44
<p>昼食を求めて五番船の食堂に移動した。以前に来た食堂は営業時間外で閉まっていた。</p> <p>すぐ近くにある食堂に来た。店は閑散。黒服や娼婦はこの時間帯寝ているが、カジノの負け組や早起き娼婦や日勤の黒服がいる。</p> <p>知っている顔は無い。ミートボール入り特盛ナポリタンが美味しい。大声を出すとなしなめられる。</p> <p>ウィリアムは七番船に行けばグロフィスについての情報収集ができそうと思った。</p> <p>リーユエはメリット（グロフィス情報）とデメリット（強盗とムハンマドの脅威）を秤にかけて、ムハンマドはむしろ三番船と四番船を中心網を張っているだろうから七番船は逆に安全かもと思った。</p> <p>そこで七番船に移動するために船着き場に向かった。</p>	

七番船へ	1/23 23:51~1/24 0:40
<p>渡しのラットのところに行った。七番船に渡るには一人100セレンとられる。七番船への移動には一時間ほどかかるようだ。基本は片道で、帰りを待てるとしたら1~2時間ほど。七番船には渡し船屋はいないようだ。</p> <p>一時間をかけて七番船の入港ドックに移動した。乗ってきた船は無事。ポロポロにされたスクラップ船もまだある。</p> <p>聞き込みをするなら、乗ってきた船の船員や、荷役、出入りしている船乗りからも情報を訊けそう。</p>	

ローザミスト号	1/24 0:49~1/25 21:43
<p>無事だった船の中だが、船員Aによるとムハンマドたちが踏み込んできたことが分かった。もぬけの空だと分かったと何もしないで出て行ったようだ。食料などの補給はできている。</p> <p>ミュウのディープダイバー（VAP）も無事に済んだ。</p> <p>船員Bを呼んでトゥマシッドを救出したことを伝えた、Bたちは死んだと思って弔いの儀式までしていたらしい。</p> <p>船員Bから二番船のウサギという麻薬の売人がトゥマシッドに恩義があって、トゥマシッドの命の恩人だと分かればきっと協力してくれるはずだと教えられた。ウサギと接触するならうさ耳帽子をかぶっておけば向こう側から接触してくるようだ。船員Bからうさ耳帽子を渡された。また、船員Bがウサギ宛てに手紙を書いて渡してくれた。</p> <p>船員Bにトゥマシッドの部下が誰だったのかを確認した。予想通りH・K・Oだった。三人ともぼちぼちらしい。</p> <p>船員Bによると、この場所（七番船の入港ドック、またはローザミスト号）は（ムハンマドの手の者に）見張られているようだ。</p> <p>ミュウのVAPもしばらく船員たちに預けることとなった。</p>	

荷役に訊く	1/25 21:51~1/26 0:17
<p>トーコとミュウとガリルとコンラートは荷役に話を訊きに行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・荷役はグローフィスのことを覚えていた。たくさんの荷物を運んで儲かった。金払いも良かった。</li> <li>・荷物は二日前（6日目）に小舟に乗せて二番船に運んだらしい。荷物は石が入っているのか重たかった。</li> <li>・大口の薬物取引が行われ、ヤク中で溢れている二番船に貴重な品物を置いておくのは危ない。普通は運んだその日のうちに取引が終わっているものだが、その荷物は他の船に運ばれた様子はない。</li> <li>・一番船は基本的には安全だが、たまに不意にギャング同士の闇取引に遭遇することがあり、その時は非常に危険。取引は意外なところで行われているが、大きな通り道でやられることはないだろう。遭遇したら問答無用でゲームオーバー。妙な小道に入らないようにすれば良い。</li> <li>・荷役たちは（ビッグセブンのうちの）どこの船の所属かはっきりとは決まっていない。なので、荷物の行き先によってあちらこちらに移動する。グローフィスの荷物の行き先は守秘義務があるので明かせない。</li> <li>・荷物の行き先なら二番船をうろついているヤクの売人が知っているだろう。</li> </ul> <p>コンラートに奢ってもらって渡し船を使って、六番船の最初の隠れ家に移動した。</p>	

合流と新居	1/26 0:19~1/27 23:03
<p>旧隠れ家でエドワードと合流することができた。</p> <p>そのまま新しい隠れ家に移動。そこは六番船の第二船倉だった。甲板より低い位置で窓からは海面が見えるのみ。隠れ家の移動が可能なのはあと一回のみ。慎重な行動が必要になる。</p> <p>レオンハルトやエドワードたちと情報を共有した。レオンハルトは悪党であるグローフィスが素直に力を貸すのが不安なようだ。ウィリアムが下手な駆け引きをせずにストレートに協力を乞うつもりだと言えばレオンハルトも同意した。</p> <p>トゥマシッドにウサギのことを話したら、トゥマシッドの方はウサギという名前を言われるまで忘れていた。船員Bからの手紙に添え書きをしてもあまり意味が無いようなことをトゥマシッドは言った。護衛部隊だった頃に外部の海賊船から大砲で狙われているところにいた一団を退避させたことがあり、その中にウサギがいたとのこと。その時にたまたま砲弾が飛んできたので命を救ったことになるが、それほど感じ入る話でもないだろうとの感想。手紙は楼で封印しており、開くと分かるようになっているので、そのままウサギに渡すことにした。</p> <p>エドワードに変装のし直しをしてもらったが、何かの手段で正体がばれることは有りうるので過信は禁物。</p> <p>翌日は、NPCではエドワードだけを連れて二番船に行くこととなった。</p>	

二番船に潜入	1/27 23:14~1/28 22:09
<p>ラット爺の小船で二番船に移動した。二番船に到着してすぐに見張られていることをエドワードが気づいた。</p> <p>二番船に入ってしばらくは乞食の姿はなかった。そのかわりジャンキーと思われるおかしな連中がいる。周囲から聞こえるのは呻き声やひそひそ声や笑い声など。</p> <p>最初はウィリアムがうさ耳をつけたが、途中でトーコに交替する。</p> <p>そうしているうちにサングラスに大きな帽子を目深にかぶったジャケットにホットパンツ姿の怪しげな女が近づいてきた。この女がウサギだった。船員Bからの手紙を渡すと、途中まで読んでトゥマシッドが死んだものと早とちりして海に身を投げそうになり、ウィリアムに加速してもらったミュウがウサギにタックルをかけてなんとか身投げを阻止。ウサギはトゥマシッドのことを『マシッド様』と呼んでいる。</p> <p><b>船員Bの手紙の中身：</b></p> <p>【船員B（美化顔）：拝啓、うさぎさま。先より交流のあり、大変文の間が空いたこと大変心苦しく思います。しかし、今回はそのお詫びよりも先にお知らせしたいことがございます。先だって、私達の頭領トゥマシッドが、ムハンマドに捕まり処刑執行されたことはご存じの通りだと思いますが（一うさぎは此処まで読んで海に身を投げそうになったようだ）、その処刑の際に乱入された冒険者の方々により、見事に処刑は阻止され、我らの頭領は救い出されました。頭領ともども感謝しており、その方がは恩人です。是非格別なるお引き立てをよろしく願いいたします】</p> <p>なんとかウサギに協力してもらえらることとなり、二番船に大量に運び込まれた荷物の行き先を尋ねた。二番船に大量に運び込まれた荷物は三件あった。ウサギは荷物の紋章は知らなかったが、薬でもない荷物が運び込まれ、それが置きっぱなしになっているものなら知っていた。しかし、荷物の持ち主までは知らないようだ。</p> <p>ウサギのラタストーリーカー気質の話を含んでから、荷物が置きっぱなしになっている倉庫まで移動した。</p>	

倉庫の扉	1/28 22:10~1/29 23:07
<p>目的の倉庫に到着した。倉庫に忍び込んで箱の中を見た者もいたようだが、中には石が入っていたとのことだった。使っばなし置きっばなしで売人たちは気味悪がっている。</p> <p>みれば、裏口の小窓が一度破壊され侵入に使われたようで、新しいものになっていた。取引の情報を売買する情報屋は安全な商売ができないのでない。倉庫を貸しているのは二番船の組合。金がかかるが誰でも借りられる。倉庫の鍵は借主が持っているので、合法的には手に入らない。</p> <p>倉庫の中からは人の気配がする。火打石で煙草に火をつけている音がした。</p> <p>倉庫の外観を確かめると、明かり取り用の窓が高いところにあるが曇りガラスになっている。侵入するには正面の扉をピッキングするか、（一度壊されて新しくなっている）トイレの窓から侵入するかだ。明かり取り用の窓を破って入ろうとするとよほど小柄でないといっつかかかって抜けなくなりそう。取引をすることが前提になっていて、外部から覗かれないように配慮されているような造りだ。取引する両者が同じ入り口から出入りせずに済むように、裏の方にも表と同じような扉がついている。この倉庫は物を置いておくだけという目的ではなく取引に使うための倉庫なようだ。他に荷物を置くという機能に特化した倉庫もあるようで、消耗品置き場などに使われている。</p> <p>普通は取引する品は盗難などされないように取引ギリギリまで自分の船の中に積んでおくことが多い。取引用の倉庫に何日も荷物が置きっばなしなのも、そこに見張りがいないのも異常事態。</p> <p>忍び込んだ人が生還しているのは倉庫の中身をばらすために泳がせているのか？ 敢えてノーガードにすることで役に立たないがらくたが置いてあるというポーズを見せているのかも？</p> <p>トイレの窓は10cmだけ開くようになっている。鼠一匹なら入れそう。しかし、トイレの扉は閉まっていて鼠ではトイレから外に出るのが難しそう。ドアの鍵はかかっていないが、レバーを下に下げないと開かない。鼠に影入りするには影の面積が狭すぎる、他に小動物用に侵入口はなさそう。</p> <p>ミュウが扉を調べてから鍵掛け機で錠前を開いた。しかし、扉はスライド式の巨大な扉で、開くときにどうしても大きな音が出てしまう。音はオイルで緩和するか魔法で音を消せば良さそう。</p> <p>周囲は静まり返っていてカモメの鳴き声やヤク中の笑い声が聞こえてくるくらい。</p> <p>倉庫の周囲には建物じみたところはあるがどれも廃墟のような感じで、まともなのはこの倉庫のみ。安全性は不明。</p> <p>星霊術で扉の開く音を消して、扉を開き中に入った。</p>	

グロフィスの不機嫌	1/29 23:07~1/30 21:35
<p>倉庫の中にいたのは想定通りグロフィスだった。目立たないように音が消えているうちに扉を閉じた。</p> <p>代表でウィリアムがグロフィスと会話をする。</p> <p>デビルコアの犠牲にさせられそうな子供たちを救いたいから力を貸して欲しいと正面からお願いをするウィリアム。ミハエル・ガールウィの名前を出すと、次にその名を呼んだら殺すとすごまれる。しかし、諦めずに食い下がるウィリアム。三下は関わるなとグロフィスは言うが、力が足りないからこそ、力ある人に助けを求めることに躊躇する余裕は無いと主張。それを聞いたグロフィスは素直ではない表現を使いながらも力を貸すことに同意する。</p> <p>ウィリアムはグロフィスの説得に見事成功した。</p> <p>時刻は午前11時。五番船に戻ると2時間ほどかかりそう。倉庫はウサギが見ておいてくれるようだ。</p> <p>中の荷物にはボルテッカ商会の紋章が入っていたようだ。</p>	

神父を探して	1/30 21:42~1/30 23:11
<p>教会に来てみると教会は閉まっていて、神父は不在だった。娼婦たちもいない。</p> <p>カジノの方にも行って見たが、そちらにもいない。カジノは人もまばらだった。</p> <p>教会の庭先ではトーコの性癖を看破した娼婦が水やりをしている。いぶかる娼婦にトーコが声をかけた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在神父は外出中</li> <li>・神父には予知能力が有る。神父の言うとおりに賭けていれば当たる（らしい）。だから、神父に縋ってくる客は多い。</li> <li>・神父は縋ってくるカジノの客に助言（？）をする（最終的には全財産を巻き上げる）のが仕事。詳細は言えないが（払わなくても良い種の）借金があり、カモになった客から入ったカジノの収入の何割かが借金返済に充てられることになっている。</li> <li>・神父がホモというのは嘘だが、女がすり寄っても誘惑しても微動だにしない。</li> </ul> <p>神父に頼まれた人を連れてきたと言ったら、娼婦が神父の居所まで連れて行ってくれた。</p>	

娼婦に連れられて四番船の盗品市のさらに奥の貧民街に移動した。  
 神父はストリートチルドレンや貧民のような子供たちに囲まれて、算数とも道徳とも処世術ともつかない授業をしていた。  
 娼婦によるとこの貧民街の一角は神父の縄張りになっていて、人さらいや奴隷商人は入ってこない。神父はカジノで得た収入を借金返済には使わずに、船の一部を買い取ること（縄張り化？）に使っている。娼婦も神父に育てられたようだ。  
 授業が終わって、神父に声をかけると、神父とグロフィスが対面した。ガールウィ様かと問われて即座に否定するグロフィス。マタオキールはグレートワンス信仰問答119番を問いかけた。

マタオキールの問い	グロフィスの回答
不完全とは何か。	後から付与された物差しだ。
世に生れ落ちるとは何か。	神の秩序により完璧な物へと創造されることだ。
比翼の鳥は欠けたものか。	否、比翼の鳥として創造された。
鳥でありながら地を這う者は敗者か。	魚でありながら泥を喰う者もある。神はそのように創造された。
心と体の食い違うものを貴方はどう見られる。	食い違っていると誰が決めた。お前は神の業を疑うのか。

マタオキールは感動したのか跪いて平伏したが、グロフィスは見戯と切り捨てる。  
 そこに、マタオキールは本当に聞いたかった質問を投げた。

生まれながらに死ぬ定めにある者は、生まれてこない方が良かったのでしょうか。	生まれて死ぬのはドイツもコイツも同じだろうが。誰の事をいつてんのかしらねえが。少なくともそいつはお前の生き方と在り方を変えただろ。そこに意味はなかったのか。
---------------------------------------	--

このような問答をすることでは何も得られない。この問答を胸に何を見るかで得られるのが真理だと、不愉快そうに吐き捨ててグロフィスは二番船へと戻っていった。

マタオキールは平伏した姿勢のままビクリとも動かなくなった。  
 娼婦が出てきて、神父をそっとしておいてやって欲しいと一行を奥に招いた。エレノアと名乗った娼婦はエクレアを出してくれて、神父を救った礼を言った。神父は一日はあのままの状態になるから、明日の朝に来れば協力してくれるようだ。  
 目的はどうあれ、結果として救ってもらったなら同じことで、感謝をする。相応の礼をする仁義を忘れた者から落ちていく。だから、ムハンマドもいずれ失脚するだろうとエレノアは予言をした。

エレノアから情報を得ようとして質問をした。

- ・タピオカが無くなったので次はクラッシュココナッツが来る
- ・妙な三人組がレオンハルトという大男を探している
- ・カジノで一番情報を集められるのはマタオキール神父

そこから、神父が前にも動かなくなった時のことを訊くと神父の身の上話になった。

- ・神父は目が見えなくて音で周囲を聞き分ける。神父の妻は耳が聞こえず声が出せない人だった。
- ・意思疎通もままならない二人だったがいつも一緒に優しかった。しかし、妻は心臓の病気で娘も心臓の病気になってすぐに死んでしまった。その時に娘だけでも助けようとか方々から借金をして、ビッグセブンで一番の負債を抱えることになった。
- ・二人を喪ってから、この世に生まれるとはどういうことか、不完全に生まれた娘は幸せだったのかと自問するようになり、信仰問答119番をいつも呟いていたらしい。

ミュウとセレスティアは子供に懐かれたが特に何もなかった。  
 そして、一行は隠れ家に戻っていった。

帰宅	1/31 22:49~2/4 21:50
<p>隠れ家に戻ってレオンハルトに報告をした。レオンハルトからはグロフィスが二番船で何をしようとしていたのか訊かれたが一行は答えられない。神父の協力があるなら大丈夫と楽観的なレオンハルトだが、それぞれの思惑が分からないと不確定要素が多すぎるとエドワードにたしなめられる。</p> <p>そこで、いったんそれまでに入った情報を整理してみることに。</p> <p>グロフィスが磁石を、次の行き先を決定する二番船に持ち込んで、何かを仕掛けようとしているようではあるが、決め手になる情報がない。ウサギにお願いをして二番船を詳しく調べれば何か分かるかもしれないが…？</p> <p>トゥマシッドに確認をすると、ビッグセブンの行き先が長期間決まらないということはある得ないという。</p> <p>レオンハルトとテレサとトニーにお土産のエクレアを渡したら好評だった。</p> <p>レオンハルトとエドワードにロック、ユカリ、パトリシアの三人組との休戦を選択肢に入れても良いかを確認、レオンハルトからは好きにするように言われ、エドワードからは釘を刺されながらも彼なりに対応してどうとでも動くので気にしなくていいと言われた。</p> <p>レオンハルトにデビルコアをどうするつもりなのか聞いたら、最初から誰かに渡すつもりは無いと言った。</p> <p>そして、神父と会いに行く翌朝まで待機することとなった。</p>	

マタオキール神父と悪魔の心臓	2/4 21:56~2/5 0:22
<p>マタオキールに会いに五番船の教会に行ったが不在。四番船の貧民街に移動する。</p> <p>マタオキールはグロフィスに土下座をしたそのままの姿勢で固まっていた。呼びかけると反応があった。改めてマタオキール神父に協力を要請した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脱出用の船（商用大型キャラック二隻、およびそれを動かすための船員）は既に用意してある。退路の確保も可能。神父は最初から子供たちを助けるつもりで用意していたという。</li> <li>・今回のデビルコア取引は、デビルコアを巡って繰り返された悲劇（惨劇）を清算する時だと神父は言う。</li> <li>・デビルコアは子供を大量に殺しうる力を持つ父親のところに現れる呪いの品であり、永遠に連鎖して子供の魂を食らい続ける悪魔だった。</li> <li>・神父は過去に父親としてデビルコアに関わり、デビルコアを結局使えず娘を見殺しにしてしまった。過去に孤児院にたくさんの子供を集めて殺そうとしたが、結局引き金を引くことができなかった。その時はまだデビルコアを壊せることを知らなかった。娘の死を看取することもできなかった。</li> <li>・ある父親は自分の子供のために大量の子供を殺し、ガールウィ神父（グロフィス）はそれを目撃しデビルコアに敗北し、止めることができなかった。デビルコアの破壊はガールウィ（グロフィス）の聖騎士としての最後の任務だった。（25年前のアインハットの惨劇のことと思われる）マタオキールはガールウィ（グロフィス）が今もその任務を完遂しようとしていると信じている。</li> <li>・いま、また自分の娘の命を助けようと思っている父親の前にデビルコアが現れた。マタオキールもグロフィスもそれを止めるために今ここにいる。その父親は、ビッグセブンの総帥ビッグファーザー。彼はレオンハルトと取引をして自分の娘を救おうと思っている。ビッグファーザーの娘サリーマリアは心臓疾患で15歳まで生きることができない。息子の名前はトニール。サリーマリアを救う方法はない。</li> <li>・病や四肢の欠損とは違い、臓器の不全だけはいかなる方法でも治療のしようがない。</li> <li>・デビルコアを埋められたものは人間ではなくなり、コアに操られ人を食う食人鬼（グール/オーガ）となる。そして、化け物として退治され扱ひだされた心臓はデビルコアとして次の犠牲者を待つ仕組みのようだ。</li> <li>・デビルコアを破壊できるのは、デビルコアが停止した時のみ。デビルコアが停止するには、ビッグファーザーがデビルコアを拒絶するか、デビルコアを埋め込まれた娘（サリーマリア）を殺すしかない。</li> <li>・マタオキール神父の知る限り、いまビッグセブンにデビルコアに関わりのある人間は他にはいない。</li> <li>・グロフィスは大分前に一度だけ五番船のマタオキールの目の届くところに現れ、荷役の手配をしていた。二番街（二番船？）の【いくつかの場所】に荷物を運ぶ手配だったようだ。</li> <li>・三番船への侵入口さえ確保できれば、三番船の中は案内の者が案内できる。子供を助けることは神父に任せて大丈夫そう。</li> <li>・グロフィスの磁石の使い道は二番船のヤック・ドゥバドゥバというヤク中の元技師がいて、磁石の使い方や磁力に詳しいらしい。ただし、薬がキマっていると役に立たない。たまに爆薬などを作って四番船で商売をしているらしい。居場所なら（薬物の）売人が知っているだろう。</li> <li>・神父はちゃんと五番船で仕事をしているか監視されているので、神父を隠れ家に連れていくことはできない。しかし、デビルコアを排除するための行動については嘘はつかない。</li> <li>・神父はデビルコアがどうなろうとビッグセブンには残るつもりらしい。</li> </ul> <p>隠れ家に戻るついでに盗品市を見たが、爆薬商人はいなかった。</p>	

## 集まる証言

2/5 22:37~2/6 21:26

隠れ家に戻ってトニーとレオンハルトとエドワードとテレサたちに話を聞いた。

- ・トニーの姉サリーは確かにサリーマリアという。サリーの年齢は12歳。サリーは生まれつき心臓が弱い。母は『神様がそうお作りになったから仕方ない』と言っていた。
  - ・トニーはマタオキール神父のことは知らないようだ。
  - ・トニーとサリーは母が死んでから人さらいに連れてこられたが、『手違いがあった』と怖い男たちが三番船から二人を連れ出そうとしたところで、トニーは逃がされた。エドワードの推理ではトニーとサリーは別扱いで総帥の元に連れて行くはずだったのを間違えて他の子どもたちと一緒に連れて行ったようだ。
  - ・『なんでこいつらがここに居るんだ』と言われたらしい。ということは、トニーとサリーは三番船の血を搾りだすための子供たちとは別扱いにするべき子供たちだったことになる。
  - ・トニーを救出した時、エドワードは追手から『捕まえないと自分たちの命が危ない』という焦りを感じた。なので、トニーはVIPかそれに類するものだと判断した。
  - ・トニーとサリーは父は死んだと母に言われていた。名前も教えてもらっていない。トニーは母を助けなかった父は生きていたとしても認めない。
  - ・トーコは話の流れからサリーはビッグファーザー（総帥）の元で丁重に保護されていて、トニーもそうなるはずだったが、彼がここに居るのはアクシデントだと思った。
  - ・エドワードの判断では、デビルコアの起動を三番船で行う都合上、入手し次第即座に手術に入れるように、サリーは三番船に保護されている可能性が高い。三番船に子供が集められているのはデビルコアに子供の生き血を供給するため、トニーの証言で『部屋が真っ赤になった』というのは、子供をすりつぶして血を搾りだす実験だったと考えられる。
  - ・テレサによると、人間の考えた神では神が定めた寿命は絶対なのだろうという。神にできないことは無い、神に関わりたいのなら信仰すればいいとテレサは言った。
  - ・レオンハルトが欲しいのは、（おそらくデビルコアの強化に使われるであろう）ルビーブラッド。その力でティガールを転覆させて皇帝の座に返り咲くつもりようだ。デビルコアを破壊したいのなら（冒険者に）くれてやろうとレオンハルトは言った。レオンハルト、エドワードと情報を共有した。
  - ・レオンハルトとビッグファーザー（ビッグセブン総帥）との取引はエドワードがコネを持っているブラッディマーケット経由によるもの。
- エドワード同伴で二番船に向かった。

## 恍惚から拒絶へ

2/6 21:49~2/7 0:02

二番船に移動し、ウサギと接触をした。ウサギの案内でヤックーのところに向かう。

二番船の一角の廃墟のようなマンション（のような船室）でヤックーは薬をキメていてコミュニケーション不能の状態。

トーコがウサギから（麻）薬を買って、リーユエが星霊術でヤックーをコミュニケーションできる状態にした。

ウサギも人をヤク中にするときは気が引けるらしい。

ヤックーに磁石の使い方について質問をした。

- ・磁石の強さや配置によっては罨ができたり何かが動かなくなったりする。
- ・船に積み込めば方位磁針は狂うだろう。同じところに固まって置かれているなら磁石は一方向に吸い寄せられるが作用が露骨なのですぐに分かってしまうだろう。
- ・磁石が近くにあると上手く動かなくなるマジックアイテムもないことはない、ヤックーは言葉を濁した。
- ・ウサギによるとグロフィスの磁石はあちこちに運び出されたようだ。
- ・ヤックーに臓器の代わりをするアイテムの話をする、急にヤックーの目つきが変わって態度を硬化させ、磁石でどうこうできるマジックアイテムはないと言い出す。ウィリアムが嘘かどうかを見極めると、嘘が混じっているような感触。
- ・そこからヤックーはマジックアイテムは専門外とかお役に立てることはない、冒険者を警戒して発言を避ける。
- ・ヤックーについて少し洗ってみる必要があるようだ。
- ・ヤックーは明らかにデビルコアについて色々知っているようだが、一行を警戒して口を閉ざしている。

ウサギに促されて一度外に出る。ヤックーは一度へそを曲げると絶対に言うことを聞かないようだ。

ヤックーは薬の売人たちのボスが連れてきた人間。薬の売人のボスはウサギの『おかん』のような存在らしい。

ウサギに連れられて薬の売人のボスのところに行くことになった。

売人の頭	2/7 21:10~2/7 22:06
<p>ウサギに連れられて売人のボスに会いに行った。 ボスは煙草を啜えたシャドウの姐御だった。礼儀にはうるさいらしい。</p> <p>身内以外が入ってきたのに文句をつけていた姐御だったが、ウサギの（崇拝しているトゥマシッドの）恩人だと紹介するとコーヒーとドライフルーツ入りのチョコレートが出てきて、話を聞いてくれる体勢になった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤックはグレートワンズ神殿から処分を頼まれ、薬漬けにして飼殺している厄介者だった。本名は不明。</li> <li>・元々は聖騎士ミハエル・ガールウィ（グロフィス）の従者だったが、ガールウィが戦死（表向きはそういうことになっている。ヤックはどう聞かされているかは不明）してから壊れてしまい、取り憑かれたように火薬を作っては壁を破壊するようになった。ヤックを引き受けたのは5年前らしい。</li> <li>・二番船には流刑地としての機能もあり、こうやって薬漬けにして人を買殺す機能もある。大体2~3年もすると死んでいくそう</li> </ul> <p>だ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤックについての詳しい話はブラッディマーケットに訊きに行けば分かるようだ。盗賊ギルドは（ビッグセブンの七隻？）全部の船にあるらしい。</li> <li>・ブラッディマーケットは売人の倉庫（？）から歩いて10分ほど。ウサギが案内してくれる。</li> <li>・ブラッディマーケットは魔界貴族は見つけ次第殺すらしい。</li> </ul> <p>食べきれないチョコレートは包んで持ち帰り、ウサギの案内でブラッディマーケットの窓口に移動した。</p>	

ブラッディマーケット	2/7 22:21~2/10 22:15
<p>一行の中でシーフ組がブラッディマーケットに連れられて行った。二番船の盗賊ギルドはブラッディマーケット専用らしい。ウサギ同伴なので対応してもらうことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グロフィスは前日（マタオキールと対面した日）から荷物を二番船の船内のあちこちの小さな倉庫に分散させた。（他の船には荷物を出していない）取引用の倉庫をたくさん借りたらかなりの出費（50万セレン近く）になるらしい。グロフィス本人は元の大きな倉庫にいるらしい。</li> <li>・元の大きな倉庫も運び先の小さな倉庫も、安全な取引が保証されているという以外は普通の倉庫。二番船の指定された倉庫は護衛戦力と監視がつく。取引の日には護衛が横やりが入るのを防ぐらしい。</li> <li>・グロフィスの取引予定日は四日後。その日はビッグセブンの移動終了予定日になっている。一日前だとビッグセブンが移動中なので外部から客が入るのは不可能だが、移動したてのビッグセブンに取引相手に来るかは疑問。</li> <li>・規則なので。場合によっては護衛部隊は空になった倉庫の見張りをさせられるかもしれない。</li> <li>・グロフィスが取引倉庫を押さえている間は、他に予定されている取引はない。大規模な麻薬取引も最近はない。</li> <li>・ビッグセブンの外征護衛船団は近づく船を片端から海賊のように狩りまわっている。このようなことは今までは無かった。</li> <li>・外征護衛船団には、ビッグセブンが移動を完了した時点で秘密裏に指定の船（二番船の予定）の方位磁針で方角を確かめて（測量して位置を確かめるということか？）、座標を打電するようだ。まとめて大船団で移動すると簡単に追跡されるかららしい。（オラトリア商会や南方海賊に狙われるようだ）</li> <li>・アルベルト・ヤックは聖騎士ガールウィ（グロフィス）の最古参の従者であり腹心で、聖騎士への昇任の話断ってまでガールウィの従者であり続け、任務の際には必ず同行した。25年前のアインハッドの惨劇の実行犯ガガル・オウリングン討伐任務の際、討伐には成功したものの生還したのは廃人となったヤックのみだった。ガールウィは戦死したとされているが死体は見つからなかった。帰ってきたヤックの証言が要領を得ないため、何があったのか詳しいことは分かっていない。</li> <li>・ヤックは『あそこで私が壁を壊していたら』とうわごとを何度も呟くようになり、火薬の研究を始めた。彼は正気に戻ることなく爆薬で色々なものを吹き飛ばすので、20年ほど前（註：5年前の誤りかもしれない）からビッグセブンで薬漬けになっている。</li> <li>・シモン・デュナークという名の聖騎士が記録を残したらしいが、結局真実は分からなかった。シモンは35代目聖騎士団長と共に活動していた聖騎士だったが、アインハッドの惨劇から少しして海洋帝国ティガールに亡命。ロックと名乗り白騎士として活動している。</li> <li>・アインハッドの惨劇は25年前に神聖帝国セレンのアインハッドで発生した大量虐殺事件。事件を起こしたのは当時の市長ガガル・オウリングン。詳しい動機は不明。彼はアインハッドの街を封鎖し住民を虐殺。子供を一ヶ所に集め人質とした。その際に呪いの言葉を発した件で世界聖騎士団の討伐対象とされた。当時の聖騎士団のNo.2だったガールウィは団長に指名され、他に聖騎士を五人連れてアインハッドに市長討伐に向かった。戦場は主に地下街で、随行した聖騎士五人は全滅。ヤックのみが生還した。人質の子供は全滅。地下道から聖騎士五人と市長ガガルの死体と、心臓をくり抜かれた少女の死体が発見された。ガガルの死体は半分ほど何者かに喰われていた。</li> <li>・死体が見つからなかったのは、聖騎士ガールウィと市長の護衛として雇われていたムハンマドという男だけだった。消息も不明。</li> </ul>	

- ・ムハンマドはアインハッドの惨劇の二ヶ月前に突如現れて市長の護衛を殺し、自分を護衛として雇わせた。その後、市長は人が変わったようになり何らかの大きな取引をしたというのが詳細不明。(デビルコアか?)アインハッドの惨劇が発生したのは取引の三日後だった。なお、市長には入院中の娘がいた。
- ・未確認情報だがムハンマドが魔界貴族だったという情報があった。ムハンマドは音を支配する。音を細かく聞き分け、音を使って相手を混乱させる。聖騎士ガールウィはムハンマドによって顔に×字の傷をつけられた。
- ・ブラッディマーケットは魔界貴族の討伐ならバックアップであれば可能。まともな戦力はない。例えばブラッディマーケットでこの船で使った経費を全額負担もできる。(ただし、ここまでビッグセブンだけで使った経費は3万セレン程度。3万セレンと魔界貴族討伐が釣り合うかどうかは不透明。ビッグセブンに着く前に使った経費はおそらく対象外と思われる)
- ・仮に護衛団のムハンマドが魔界貴族だったとしても、魔界貴族としての能力の大半は犯してしまったルール違反(人間を殺すことなど)により使えなくなっているはず。シャドウやヴァンピールと対面しても見抜けないのではないかと。もし、そうなら、次に死んだらもう現世には戻ってこれないだろう。
- ・ロックたち三人組は五番船の三番宿泊施設を拠点に活動中。近くの深夜食堂を毎日21時に利用している。今は四番船の貧民街で誰かを探して聞き込みをしている。
- ・ブラッディマーケットでは今のところ三番船から奴隷が逃げ出した話は掴んでいない。
- ・ビッグボスに会う方法はたとえ分かっていたとしても教えられない。

ブラッディマーケットから出て合流し、全員で情報を共有した。エドワードにデビルコアの取引の日程と場所を確認すると、五日後に二番船で行うとのことだった。

<b>ヤックー説得</b>	2/10 23:05~2/11 21:58
<p>ウサギの案内で説得しに戻ってみるとヤックーは再び薬をキメていた。</p> <p>リーユエの星霊術は失敗し、リーヴェの神聖祈祷でヤックーを正気に戻し、ウィリアムが説得を開始した。</p> <p>最初はデビルコアなど知らないとしらを切ったり、何もできないと言っていたヤックーだったが、ウィリアムがガールウィの存在を匂わせつつ、関わっている証としてグレートワズ信仰問答119に対するグロフィスの回答を口にする目つきが変わった。</p> <p>ヤックーはその問答に答えた人のところに行かなければならないと言う。</p> <p>コンラートがヤックーを回復させてからグロフィスのいる倉庫へと移動した。</p>	

<b>主従再会</b>	2/11 22:09~2/11 22:47
<p>ヤックーを連れてグロフィスのいる倉庫へと移動。</p> <p>ヤックーはグロフィスのところまで近づいて膝を床につけた。今回のこと(ムハンマド討伐とデビルコア破壊)はグロフィスの長年の仕込みの最終段階だったらしい。グロフィスはヤックーを待っていたのだった。グロフィスは一行がしようとしていたことも知っていたようだ。</p> <p>ヤックーを連れてきたことで、一行はグロフィスの計画に『混ぜてもらえる』こととなった。</p> <p>次の日には退去命令が出るから、まずは一行に隠れ家に連れて行くように要求するグロフィス。エドワードを確認をとって、一同は六番船の隠れ家に戻った。</p>	

<b>隠れ家</b>	2/11 22:53~2/11 23:41
<p>グロフィスとヤックーと一緒に隠れ家に戻った。グロフィスは出航中の三日間をしのぐために食料と水を用意するように注意を促し、ついでに使える人間を集めて来いと言った。退去命令中にセフィから借りた船がどうなるか心配をしたトーコだったが、グロフィスによると既にマタオキール神父が船籍を書き換えたらしい。</p> <p>水と食料は四番船と五番船で調達できる。トニーとテレサとレオンハルトにチョコレートを捧げた。</p> <p>コンラートはグロフィスにデビルコアをどうするつもりか聞いたら『砕く』と言われた。ロックについてグロフィスに聞いたら、あまり話したことはないものの三十五代目U・G・シグマの金魚の糞だが腕は確かだと言った。</p>	

買い出しと勧誘と	2/11 23:47~2/13 0:11
<p>五番船に移動して水と食料を買い込んだ。(PC10人分、トニー、テレサ、トゥマシッド、ヤック、グロフィス分を経費に計上) コンラートとガリルとリーユエはさらに個人的に買い込んだ。</p> <p>そして、ロックたちが食事をしている食堂へと移動。サイゾウはその場になかった。</p> <p>ロックに対し、ガールウィ(グロフィス)が計画しているデビルコア破壊への協力を打診。パトリシアは不満気だったもののロックは全面的な協力とレオンハルト逮捕の(一時的なものと思われるが)凍結を宣言した。(ユカリは事実を受け取ったものの態度に表してはいない) <b>ロックにとってもデビルコア破壊は最優先事項だったようだ。</b></p> <p>ロックも隠れ家への案内を要求。ロックたちの分まで水と食料を確保して、隠れ家へと帰還した。</p>	

作戦会議	2/13 21:06~2/18 23:54
<p>隠れ家で一堂に会した関係者たち。グロフィスが目的と敵をまとめる。</p>	
<p>目的</p>	
<p><b>デビルコアに魅入られたビッグファーマーを殺すこと。</b></p>	
<p><b>デビルコアの動機である被験者サリーを殺すこと。(難易度は一番低い)</b></p>	
<p><b>ビッグファーマーにデビルコアを自分の意思で拒絶させること。(面倒でやり方もはっきりしない)</b></p>	
<p>排除すべき問題</p>	
<p>人体実験の副産物である<b>護衛獣</b>を排除する。(手の付けられない凶暴な連中。最高機密なので脅威の事前見積不可能)</p>	
<p><b>ムハンマド</b>が率いる護衛軍を排除する。</p>	
<p><b>ビッグファーマー</b>の直衛を排除する。(ビッグセブンのボスが雇うので腕利きのはず)</p>	
<p>利用可能戦力</p>	
<p>【英雄級】レオンハルトとエドワード</p>	
<p>【英雄級】グロフィス(元歴代最強クラス聖騎士)とヤック</p>	
<p>【英雄級】トゥマシッド(Lv10)</p>	
<p>【準英雄級】ロック(Lv11)・ユカリ(Lv10)・パトリシア(Lv6)</p>	
<p>【三下】冒険者(Lv2~4)……説得や和解ができるのは冒険者のみ</p>	
<p>【一般人?】テレサ・トニー……戦闘はできないが連れて行くと何か役に立つかも?</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・三番船への突入時に水中を守っている戦力は冒険者が排除すること。(水中戦が得意なナナミとミュウが主力)</li> <li>・サリーの居場所はグロフィスが把握している。ビッグファーマーの所在は不明だがサリーを殺せば終わるので別に分かっている構わない。(グロフィス談)</li> <li>・ムハンマドの護衛軍とトゥマシッドたちが戦った時、トゥマシッドはLv10で手下たちはLv7だったがぼろ負けをした。<b>変な音が聞こえてきて同士討ちになりあっという間に制圧されたい。</b>ムハンマドの手下たちはせいぜいLv3程度。ムハンマド自身は別格の強さ。ムハンマドを倒すためには最低でも英雄級が二人以上は必要だろう。</li> <li>・レオンハルトはルビーブラッドが狙いなのでビッグファーマーのところに行きたい。</li> </ul>	
<p>戦力割り振り予定</p>	
<p>対ムハンマド戦……グロフィス隊・トゥマシッド</p>	
<p>対護衛獣戦……ロック隊</p>	
<p>対ビッグファーマー戦……レオンハルト隊</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・グロフィスが用意した磁石にはちゃんと役割がある。大したトリックではない。三番船攻略にはあまり関係ない。作戦骨子が決まった後でグロフィスから説明がある。</li> <li>・デビルコアの現品はエドワードが小さな宝箱(プリザベートボックス)に入れて持っていた。見せてもらったが禍々しい光が眩しくてよく見えなかった。</li> <li>・三番船にビッグセブンの七大幹部が集合する可能性は低い。</li> <li>・25年前にアインハッドに現れたムハンマドと、現在護衛軍を率いるムハンマドが同一人物なのは確定(グロフィス調べ)</li> <li>・テレサによると、人がいつ死ぬかはすべて神が決めていることであり、曲げたり変えたりはできない。祈りつつやれることをすべてやれば良い。</li> <li>・25年前のガガルは、娘にデビルコアを埋めた後のことなど考えていなかった。デビルコアを埋めさえすればハッピーエンドだと思っていた。</li> </ul>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・マタオキール神父は良心でデビルコアを拒絶できたが、ビッグファーザーに良心は期待できない。ビッグファーザーが何よりも優先する娘がカギに？ビッグファーザーが『お前たちは騙されているんだ』と言う可能性。</li> <li>・マーマン/マーメイドに（トランスフォームなどで）変身した場合、水中呼吸は可能だが水中戦闘のペナルティは受ける。</li> <li>・タワーシールドを持っていても水中行動ペナルティは受けないが（必要なスキル無しで）金属鎧を着ていると溺れる。</li> <li>・水中呼吸を持っている場合は水中でも歌うことは可能。</li> <li>・水圧無視の場合は水中戦闘ペナルティは受けない。</li> <li>・テレサはビート板があれば泳げる。（本人談）</li> <li>・ビッグファーザーは七つのシンジケート（非合法組織）のドン（首領）であり、七つのシンジケートを一つに統合した。七つのシンジケートを同時に経営しながら巨大組織に育て上げた裏世界の巨頭。天才であることは間違いない。</li> <li>・三番船の船長はえげつない生体実験が大好きな変態でひよろながの博士風。名前はエーゲッツ・ナイール。性的不能者。詳細は不明。</li> <li>・三番船の中には警備兵はおらず研究員ばかり。外からの侵入者には化け物が対応する。警備兵を置いておくと日ごとに減っていくらしい。</li> <li>・トニーによるとサリーは優しくて、遠くまで歩かず家で本を読んでいることが多かった。</li> <li>・護衛銃やビッグファーザーとは三番船で戦闘予定だが、ムハンマドとは三番船では出くわさないように【仕向けてはある】。</li> </ul>
--

決戦の朝	2/20 21:35~2/20 22:07
<p>ビッグセブンの移動が完了。作戦の当日となった。</p> <p>ビッグセブンが停船し、汽笛が鳴った。外出禁止令が解けるのは次の汽笛が鳴る一時間後。汽笛が鳴らない場合は、何らかのトラブルがあったことになる。</p> <p>ここでグローフィスが作戦の説明をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二番船が移動先を決定することが分かっていたグローフィスは二番船に磁石を運び込んだ。二番船の磁石は簡単には狂わないようになっているし、あからさまに怪しい狂い方をしたら意図がばれてしまう。グローフィスは強力な磁石を二番船に分散配置することで、方位磁針の真北の方向を東の方向に4° だけずらした。</li> <li>・グローフィスの狙い通りなら、外征部隊と護衛船団は間違った座標に誘引されていて、すぐにビッグセブンから現在の座標を再度連絡したとしても再合流までに一日かかるはず。この隙をついて三番船に攻め込んでやるべきこと（デビルコアの破壊）をして護衛船団のいない海に脱出、というのがグローフィスの本来の計画だった。</li> <li>・護衛船団が戻ってからでは脱出は不可能。一日以内にビッグセブンから脱出する必要がある、</li> <li>・作戦の成功条件をグローフィスは三つ挙げた。</li> </ul>	
1.三番船に攻め込む	
2.デビルコアを破壊できる状態にする	
3.その日のうちに船で脱出する	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・これらが満たされそうにない場合、グローフィスは一行を切って勝手に動く。</li> <li>・トゥマシッドによれば現時刻は8時。ムハンマド側にできるだけ時間を与えないように迅速に動く必要がある、</li> <li>・9時になっても汽笛が鳴らなかった。これはビッグセブンでトラブルが発生したことを示している。</li> </ul>	

攻略開始	2/20 22:07~2/20 23:53
<p>ラット爺さんがマタオキールの手配で船着き場に迎えに来ている。VAPも運搬可能なようだ。</p> <p>グローフィスは取引の立会人にムハンマドを指名しているので、三番船に突入するまでの時間くらいはムハンマドと出くわさなくて済みそうだ。</p>	
諸注意	
<p>マーメイドは体形が人間とは違う（下半身が魚）なので潜水服を着ることができない。マーマンは潜水服着用可。</p> <p>NPCは置いていくと宣言しない限り同行する。テレサとトニー以外は自力で海を突破可能。テレサとトニーはVAPの一つの座席に詰め込み可。</p> <p>連れてくるNPCの力を借りる場合は状況に対して手札を切る感じで宣言すること。基本的に手札は一つにつき一度までしか切れない。</p>	

ラット爺さんの小船は警戒網をかいくぐる必要がないため三番船に接近するまで30分ほどで行ける。片道しか使えない。経路を確保するまでは待っててくれる。

ラット爺さんの船で三番船まで移動した。三番船の錨の真下が排水溝になっている。鎖をたどっていけば入口まで行けるはずだが、トゥマシッドも実際に行ったことはまだない。

ラット爺さんの通った経路は一見したところでは普通の海と普通の船の側面に見える。通って良いところと通ってはならないところが分かるのはビッグセブンの人間だけなのだろう。

入口は海面からでは確認できない。

侵入		2/20 23:53~2/21 22:29
侵入方法	メンバー	
マーマンに変身	ウィリアム、ガリル	
マーメイドに戻る	ナナミ	
VAPで移動	ミュウ（テレサ・トニーを輸送）	
水中呼吸付与	セレスティア、ラーズ	
潜水服着用	コンラート、トーコ、リーヴェ、リーユエ	
自力	その他のNPC全員	
<p>トーコは100mの長さのロープを片手に持って、片端をレオンハルトに持ってもらっている。</p> <p>朝でもあり海水の透明度も高く、ある程度見通しは利くが、塩水なのであまり遠くまでは見えない。</p> <p>潜水するために目標値12の水泳スキル判定を課された。（マーマン/マーメイド変身組、マーメイド、水陸両用VAPは判定不要）</p> <p>船の横っ腹に意味ありげな穴が開いている。穴の奥は暗くてよく見えない。VAPでも暗視機能がないためよく見えない。</p> <p>暗視持ちのラーズが穴の奥を見るとダイバースーツを着た人間の残骸が浮遊していて血塗れ。穴の奥から巨大な魚が泳いでくるのが見えた。光を使わなかったので巨大魚に気づかれずにラーズは戻ることができた。しかし、巨大魚が向かってくるのは変わらない。</p> <p>戦闘開始まで猶予は20秒。合流して説明に10秒使うので戦闘準備に使えるのは10秒。</p>		

ビッグマウス		2/21 22:35~2/22 23:50
<p>巨大魚を判別した。</p> <p>【ビッグマウス：巨大な人食いサメで、魔獣ではなく天然の魚。ただし体長は30m以上で、シャチとホオジロザメを餌として捕食する。非常に狂暴。光に反応する習性があり、光っているものを優先的に攻撃する。 Lv7 HP100/100 TP20/20 敏捷20 防16 抵抗13 回15 備考：通常攻撃に即死属性】</p> <p>ビッグマウスの攻撃が命中した場合、生死判定を強要される。（ライフアミュレット使用可能）生存した場合もHPが0で海中を漂う状態にされる。質量差が大きいのので防御力などは一切適用されない。老獪策やイニチアティブ戦闘に持ち込むのは可能。</p> <p>【ビッグマウス】 -3m- 【リーヴェ・ナナミ・ウィリアム（ZOC）】 -2m- 【コンラート・ミュウ】 -10m- 【ガリル・セレスティア・リーユエ・ラーズ・トーコ】</p>		
1ターン目		
<p>リーヴェがテラーフィールド（達成値15）・フィアフィールドを展開。テラーフィールドはビッグマウスに抵抗された。ウィリアムが貴族宣言（達成値20）。セレスティアは『精霊』と『私の勇者様』を歌い、ナナミの全ての行動に+3、全員の全ての行動に+1した。</p> <p>ナナミがビッグマウスにアイアンクローを決めたが、ダメージは通ったもののサイズ差により束縛はできなかった。リーヴェが槍で連撃、ミュウのディープダイバーがバズーカを連射。着実にダメージは通るものの決定的なダメージは与えられない。</p> <p>ビッグマウスの手番になり、大口を開けて噛みつきにきた。（射程5mのエリア攻撃だが、回避-4ペナはかからない。その代わりパリィや切り払いなどの受け系スキルは不可）射程内にいたのはナナミ、リーヴェ、ウィリアム、コンラート、ミュウだったが、全員が回避に成功した。</p> <p>残りのPCの手番になったが、ウィリアムのマインドブラストは抵抗され、ガリルのテクノショックもTPダメージを与えて確実にビッグマウスの体力を削ったが、一行の消耗の割には思うようにダメージが通らない。コンラートも槍を投げたが命中しない。トーコは待機。リーユエはサイリウムを点灯させて海底に落とした。</p>		

2ターン目	
<p>ビッグマウスがリーユエが落としたサイリウムに反応してその大きな口を開けた。</p> <p>セレスティアが精霊と私の勇者様の歌唱を継続。</p> <p>ナナミはアイアンクローをかけていた手を離して行動を遅延。リーヴェとミュウも行動を遅延した。</p> <p>ビッグマウスは落ちていくサイリウムに突撃をかけてサイリウムを飲み込んだ。一行との距離が30mほど開いた。</p> <p>トーコは光を使ってビッグマウスの即死攻撃を無効化することは可能だが、後でNPCを安全に移動させるためにもビッグマウスを倒す必要があると思った。</p> <p>コンラートは義手爆弾を取り出してアピール。ウィリアムが義手爆弾にライトを掛け、義手爆弾を光源にした。コンラートは義手爆弾をビッグマウスの方に投下した。全員、その場で待機して様子を見る。</p>	
3ターン目	
<p>ビッグマウスは光る義手爆弾を飲み込んだ。すぐに義手爆弾は爆発。ビッグマウスは風船のように膨らんで爆散した。ビッグマウスの排除に成功。戦闘が終了した。</p> <p>入口近くにいた本来の護衛たちは既にビッグマウスに喰われてしまっていたようだ。</p>	

暗い穴の中で	2/24 21:11~2/27 21:38
<p>散乱している死体の中をトーコが搜索して不思議な形の積み木のようなものを発見した。</p> <p>一旦、積み木を見てもらいに小舟に戻った。しかし、グロフィスやトウマシッドたちNPCは積み木についてはよく分からなかった。ミュウのVAPにテレサとトニーを詰め込んで再度出発した。</p> <p>ビッグマウスが潜んでいた穴の中は暗くてよく見えない。暗視ができるラーズが中を見ると奥まで続いているようだ。ラーズ以外が視界を確保できない状況では前に進めないのナナミが灯りを用意して穴の奥に進んだ。</p> <p>穴の奥には小さなハッチがあり、ハンドルがついているが、ハンドルは動かない。ハンドルの右に妙な形のくぼみが見つかった。くぼみに積み木のようなものはめ込むとハンドルを回すことができた。</p> <p>ハッチの奥は小部屋になっていて、ハンドルとふいごのようなものがあつた。扉のハンドルは動かない。ふいごを動かしても手ごたえがない。VAPは小部屋に入れない。コンラートは排水装置だと思ったようだ。外側のハッチを閉じてからふいごを使って排水することで排水終了後にハンドルで奥のハッチを開けることができると、細かい仕組みをナナミが把握。水中呼吸の時間切れも近いことから、ひとまずミュウには小部屋の外で待ってもらって、コンラートが排水を行い、奥の扉を開けて扉を通過した。</p>	

ダイバーたち	2/27 21:38~2/27 23:16
<p>扉を抜けると正面に案内板。左に搬入用格納庫、右に研究棟と書かれている。</p> <p>遠くから反響するような機械音が聞こえてきていてうるさい。通路の幅は5mほどあり、VAPでも通行可能そう。</p> <p>ミュウとの合流をするために搬入用格納庫に向かった一行。</p> <p>格納庫の中は、檻、EGG（ポーン）などが置いてあり、格納庫の中でマレーン製エッグ（強化外骨格/パワードスーツのようなもの）を着込んでいる兵士たちが出撃準備をしている。人数は4名。頭高2mほどのエッグは水中戦闘用装備になっている。エッグはビッグマウスを排除に行くつもりらしい。このままエッグが出撃するとミュウのVAPと遭遇することになる。</p> <p>ハッチを爆破すると、エッグの兵士たちと確実に水中戦闘を強いられることになり不利が否めない。</p> <p>格納庫の広さは、幅20m・高さ10m・奥行30mほど。床は金属で補強されていて、炎が広がっても火災にはなりそうにない。</p> <p>檻などの遮蔽物を利用して兵士たちに対し奇襲をかけることは可能。一行と兵士たちとの距離は約20m。</p> <p>ウィリアムがエッグの戦力評価を行った。</p> <p>【エッグ水中用 Lv7 HP20/20 回14 防15 抵16 水中銃等装備 水中戦時には回避、命中+4。武装は水中銃。爆弾などは持っていないようだ】</p> <p>エッグは水中装備であるためピュプノクラウドなどのガス系の術は効き目がない。水に入られる前に速やかに片付ける必要がある。水中銃はワイヤーのついている銃のようなもので、一応地上でも使用可能だが、地上では銃ほどの威力はなさそう。奇襲をかけて兵士たちを倒すこととした。</p>	

<b>死神を見た者は皆死ぬ</b>	2/27 23:17~2/27 23:24
奇襲は成功した。	
1ターン目	
セレスティアが、『一番遠くて、一番近くて』と『サザンクロス』を歌唱。ナナミは明鏡止水を宣言。リーヴェはデスサイズにダークソードをかけた。 セレスティアの歌で炎と凍結によるダメージを受けた兵士は突進してきたリーヴェのデスサイズの連撃で残らず両断された。戦闘は一瞬で終了した。	

<b>合流と、盗んだEGGで走り出す？</b>	2/27 23:25~2/28 21:47
格納庫に注水してウィリアムがミュウのVAPを迎えに行き、その間にシーフが総出で兵士たちの持ち物を漁る。鍵などは見つからなかったが水中銃を二挺入手した。 【水中銃 射程10m。水中ではベース30、地上ではベース20。水中での攻撃にペナルティが無く、射撃技能で取り扱える。1ターンに1回発射でき、弾数に制限がない】 大きな音を立ててハッチが開き、ミュウとウィリアムが戻り合流することができた。ウィリアムは鎧を着込んで装備を整えた。まだ騒ぎには気づかれていないようだ。エッグは壊れてしまい使えないがEGG（ポーン）は使えそうだ。ミュウはハッキング作業を行い、リーユエの星霊術で消音したうえでハッチを爆破。ポーン改修型（指揮官機）を1台使用可能にした。 【ポーン改修型（指揮官機） 通常のポーンに比べてブースト値+2、ブーストタンク+6、運動性+1 武装はソード、バレル式マシンガン、パンツァーファウスト×2。アンチマテリアルコーティングは通常と同じでカタログスペックのとおり動く】 窮屈ながら船内をEGGで動くことは可能そうだ。VAPは抱えるような形で運搬できるようだ。 NPCたちは全体的にEGGにも乗れるが、EGGに乗らない方が強いらしい。ミュウはEGGでVAPを運搬しながらついてきている。 しばらく歩くと防護服姿の人間が立っていた。マタオキール神父が手配した案内人かと思われたが、話しかけると微妙に話が合わない。一緒に熊っぽい男がいるはずだという。どうやら、奇襲で全滅させた格納庫にいたエッグを着た四人も案内人だったようだ。何とかごまかして、狐と名乗った防護服の男に案内を頼んで先に進んだ。	

<b>改造生物</b>	2/28 21:51~2/28 22:30
狐の案内で研究棟に入った。三番船は非常事態宣言中で研究員は不在だが、狐のような清掃員はある程度自由に動けるようだ。狐が防護服を着ているのは危険な場所も掃除をするからだという。研究棟の中では生物の合成実験・臓器移植・人体実験などが行われているらしい。狐はサリーとトニーが手違いで連れてこられたのは知っていたが、トニーが脱走したのは知らなかった。 子供たちは三階層上の隔離地区に捕らえられているらしく、エレベーターリフトで三階まで上がろうとしたがリフトが途中で止まり、放送で三番船の統括エーゲツの音が流れてきて、一行を生物兵器のデータ集めのために実験台にすると宣言した。目の前の通路を蠢く怪しげな影。カバの頭から目を潰されたハルピュイアが生えている化物、人間の子供が枝から沢山ぶら下がっている移動する人面樹、その他、クモに沢山人間の顔がくっついてる妙なものやら、えげつない改造生物のオンパレード、先に進むためには改造生物たちを突破してもう一基あるエレベーターリフトに行く必要がある。改造生物たちはレベル7~12の範囲の16体で特殊能力など不明な点が多かった。 一行はロック・ユカリ・パトリシアに改造生物たちの相手を任せると先に進んだ。ロックは剣を抜かずに素手で改造生物たちを倒していく。 『こうした不自然な生命体の相手は俺みたいな「元聖騎士」にはお似合いだろうよ』と言ったロックに、グロフィスは気に入らない雰囲気だった。	

ガラスの檻	2/28 22:32~2/29 22:10
<p>改造生物たちを突破して通路の先にあったエレベーターリフトに乗って三階層上がった。奥のガラス張りの部屋に子供たちは閉じ込められていた。ガラスは簡単には破れそうにない。部屋一つに子供たちは十人ほど。これが二十部屋以上あるらしい。</p> <p>そこにエーゲッツ・ナイルが現れたが、途中で通信が入った。ロックたちが改造生物を全滅させたという報告が入ったので、エーゲッツは切り札らしい改造生物の投入を指示した。手にはルビーブラッドを持っている。エーゲッツはルビーブラッドを教えてあげようと言ひ、ガラスの檻の一つの中の子供たちをミキサーで粉砕した。子供たちの血が集まってルビーブラッドに吸い込まれていく。ルビーブラッドは子供たちの血を集めた結晶のようなものだった。後に残ったのは骨だけ。</p> <p>エーゲッツが子供たちを粉砕しようとするのを止めるためにコンラートが突進したが、ガラス壁に阻まれてエーゲッツに近づけなかった。ガラス壁は物理・魔法の両方に対し防護点18、耐久力40と堅牢だった。</p> <p>得意げにルビーブラッドの解説をするエーゲッツ。材料として最も良いのはエルフの子供らしいが、人間の子供をあと200人粉砕することでデビルコアの移植に必要な魔力を獲得することができるという。そうすれば、エーゲッツの念願である最強の魔法生物【悪魔】が完成するらしい。エーゲッツはデビルコアの移植で化け物ができることを知っていてなお、ビッグファーザーの命令には従っていると嘯いた。</p> <p>話を聞いて怒りに震えたレオンハルトは堅牢なガラス壁を力づくで破壊して、ルビーブラッドを握りつぶそうとエーゲッツに詰め寄る。しかし、エーゲッツは慌てずにレオンハルトに毒ガスを浴びせた。エーゲッツはサロメの論文を読んで細菌兵器を完成させたらしい。一行にもガスが迫ってくるが、リーユエの宝具【五火七禽扇】で突風を起こしガスを散らして無害化した。すかさずコンラートがエーゲッツにタックルを仕掛け、エーゲッツを捕らえた。</p> <p>一人毒ガスを浴びたレオンハルトは悪質な病魔に侵されたが、テレサの手により癒されて事なきを得た。トーコにルビーブラッドを手渡されたレオンハルトは宣言通り握りつぶした。</p> <p>エーゲッツからは怪しげな薬と注射器を没収し、さらにコンラートが奥歯に仕込んだ薬も看破して没収した。ミキサーのリモコンとルビーブラッドと白衣も没収した。ガラスの檻は防御点25・耐久力25と堅牢、牢の開け方はエーゲッツとビッグファーザーが知っているだろう。他に檻から出た子供（トニーとサリー）が知っているかもしれないと言う狐。トニーが言うには、ガラスの檻からは上から声をかけられて梯子を使って登って出られたらしい。</p> <p>気絶をしていたエーゲッツはナナミの気付けで目を覚ましたが、ナナミにつねられてリーヴェに威圧されて再び気絶した、再び気付けで起こされたエーゲッツは完全降伏をした。怪しげな薬の効果をエーゲッツに保証された。</p> <p>ビッグファーザーは奥の通路の先にいるらしい。部屋を開けるための暗証番号『37564』（ミナゴロシ？）も教えられた。ガラスの檻の子供たちを連れ出すには、一つ上の階層から入れるようだ。エーゲッツに追加で尋問をしたところ、エーゲッツはデビルコアについての情報をムハンマドから手に入れたらしい。ムハンマドこそが【悪魔】だとエーゲッツは言った。ルビーブラッド無しでもデビルコアの起動自体は可能。ただし、出来損ないになる。ビッグファーザーにもデビルコアを使えば娘は化け物になるということを説明済らしい。サリーにはデビルコアについての説明はしていない。ビッグファーザーとサリーは同じ部屋にいるという。エーゲッツに麻痺毒を使ったところでグロフィスの催促が来た。時間を無駄遣いしたようだ。</p>	

門番	2/29 22:10~2/29 22:49
<p>ビッグファーザーがいる部屋の前はポーン機とエッグの兵士が四人が守りを固めていた。時間を与えずにせいできっちりと体勢を整えることができたようだ。通路の幅は8m、高さは5m。EGGではビッグファーザーがいる部屋には入れそうにない。エッグを着込んだ兵士のレベルは6で実力的にはレベル8~9の冒険者相当。大剣とボウガンで武装したエッグは陸戦仕様のようなので不意を突くことはできそうにない。ポーンに乗っている兵士もレベル6相当のようだ。</p> <p>ここで、レオンハルトとエドワードを投入することとした。エッグの兵士はエドワードに苦も無く全滅させられ、ポーンもレオンハルトのジャーマンスープレックスであっさりKOされた。レオンハルトとエドワードはこのまま部屋の入口を固めることになった。</p>	

父親の悲哀	2/29 22:52~3/1 0:09
<p>ビッグファーザーの部屋の暗証番号は正しかった。過剰に対象年齢を下げた子供部屋じみた部屋に入った一行を待っていたのは、憔悴したビッグファーザーと息を引き取ったサリーだった。ビッグファーザーはもう死ぬつもりでいる。後悔の言葉を吐くビッグファーザーは、トニーの知っているジョンおじさんだった。（剣王国で子供たちを見守っていたらしい）</p> <p>ビッグファーザーによると、デビルコアについて教えてきたのはムハンマドで、デビルコアを使うと娘が化け物になってしまうことも分かっていた。化け物でも良いからサリーに生きていて欲しかったらしい。</p> <p>ビッグファーザーの後悔の言葉の中に出てきた、グレートワズズの信仰問答119番が話題となりリーヴェがテレサに意見を求めると、テレサはあっさりとしてサリーを蘇生してしまった。その場のほぼ全員が強い衝撃を受けた。ビッグファーザーはこれから先の人生でこれまでの罪を償うことを宣言しビッグセブンを財産も貧しい人々に分け与え、さらってきた子供たちも全員解放することを約束した。</p> <p>ビッグファーザーはデビルコアへの執着から自由になり、グロフィスは今ならデビルコアを破壊できると言った。デビルコアを破壊するために外に出ようとした一行は通路を埋め尽くすほどに肥大化したデビルコアに出口を塞がれてしまった。レオンハルトとエドワードもデビルコアに飲み込まれたようだ。デビルコアを砕くための戦いが始まる。</p>	

デビルコア	3/1 0:11~3/2 22:57
<p>デビルコアとのボス戦が始まる。フィールドの大きさは、幅8m、奥行15m、高さ5m。EGG（ポーン改修型指揮官機）に乗り込むことは可能。デビルコアを識別した。</p> <p>【デビルコア Lv7 魔法生物（不自然な生命体） HP200/200 敏捷0 防12 回10 抵15 受動防御5 ノックバック無効 不眠 精神属性攻撃無効 叩き属性攻撃無効 炎、聖属性攻撃に弱い（ベース+10） 即死無効 拘束系スキルはオーガサイズ以上にも有効なものであれば有効】</p> <p>受動防御は表面がぶよぶよぬるぬるしているから発生する。テレーゼ曲やマナ・オーケストラは有効。状態異常【凍結】も有効。受動防御破壊技も有効。ポーンのパンツァーフアウストは、爆発中心から5m以内に味方がいなければ味方を巻き込むことはない。初期相対距離は15m。</p>	
1ターン目	
<p>デビルコアは一行に対する反撃のみ。</p> <p>ナナミが明鏡止水を宣言、ウィリアムが貴族宣言。セレスティアは『咲かせよ花を』と『精霊』を歌唱。</p> <p>リーユエの放った神風は散らされてしまった。リーヴェはターゲッティングを行い味方を援護。竜神官のコンラートはドラゴンプレスを放ちダメージを与える。ミュウのポーンは機銃掃射を行ったが全て弾かれる。しかし、直後に放ったパンツァーフアウストは命中し大きなダメージを与えた。トーコの放った水中銃は逸らされ、ガリルのマジックミサイルは命中しダメージを与えた。ナナミのコンボは最初の左右の拳（？）を逸らされたが、次の蹴りと追撃の拳（？）は当たり、着実にダメージを与える。ウィリアムの両手の槍による攻撃は痛撃となり、デビルコアに深手を負わせた。ラーズはデビルコアの行動待ちを宣言。</p> <p>順調に思われた一行の攻撃だったが、次の瞬間に状況は暗転した。</p> <p>デビルコアの噴射した強酸の霧は一行が与えたダメージをそのまま返してくるものだった。EGGに搭乗しガスから守られているミュウと強酸への抵抗に成功したうえで鉄壁防御を切ったウィリアム以外が壊滅した。</p>	
2ターン目	
<p>ウィリアムの槍のうち片方が堅実にダメージを稼ぎ、ミュウのポーンによる機銃掃射でデビルコアを破壊することができた。戦闘は終了した。</p>	

蘇生	3/2 22:58~3/3 21:50
<p>テレサがミュウとウィリアム以外を蘇生した。</p> <p>レオンハルトとエドワードは目を回して気絶している。テレサは一瞬で空腹となり、ウィリアムからお菓子とリーヴェから非常食を買った。ラズはレオンハルトとエドワードに気付けを行った。</p> <p>ウィリアムは子供たちを解放するようにビッグファーザーに依頼をするがビッグファーザーの直属の部下は全滅していた。トゥマシッドが元部下を使って子どもたちを解放しようかと助け船を出した。</p> <p>ここでトゥマシッドに子供の開放をしてもらおうと、ムハンマドが襲ってきた時にグロフィスとヤックーだけで戦うことになり備えが十分ではなくなる。しかし、トゥマシッドをムハンマドへの警戒に温存すると子供たちを助けるのに時間がかかり護衛船団が先に戻ってきてしまう。ビッグファーザーは以前から偽ビッグファーザーの命令で混乱することがあるため、護衛船団には与えた任務を完了するまでは自分（の姿をした偽物）の命令も受け付けてはならないと厳命していて、ビッグファーザーの命令でも護衛船団は止まらない。</p> <p>両方のリスクを勘案し、トゥマシッドに子供たちの救出を任せることになった。トゥマシッドには子供たち以外に捕らえられている人間がいたらそちらも開放してもらおうことになった。</p> <p>トゥマシッドは捕まっている人々を助けに向かった。</p> <p>ビッグファーザーもついてきてもらうこととなりレオンハルトたちも一緒に脱出することになった。</p> <p>ビッグファーザーはトニーの家の近所のジョンおじさんで、よくパンなどを届けてくれたり一緒に遊んでくれたりしたらしい。</p>	

脱出と宿命の対決	3/3 21:51~3/3 22:41
<p>狐の案内でエレベータリフトに案内されて第三階層から第一階層へと移動するエレベータリフトに乗り込む一行。EGGはエレベータリフトに乗せられる大きさではなく、ミュウはポーンから降りてVAPに乗り換える。</p> <p>移動中、セレスティアがトニーに父と和解するようにと遠回しに促した。</p> <p>そして第一階層に到着するとグロフィスが一行にストップをかけた。ヤックーと短い言葉を交わしたグロフィスはヤックーから音響爆弾を受け取って投擲する。着弾と同時に上空から降りてきたのはムハンマドだった。互いを確認しあい、グロフィスとムハンマドの戦いが始まった。</p> <p>グロフィス『神々の剣、聖壁の銚、吸血の牙、破邪の刃、暗闇の針。聖魔伏して覇を唱えよ。其は正にして偽り、すべてを打ち滅ぼす終わりの剣。神魔合一・魔王剣』</p> <p>グロフィスはダガーを魔王剣以上の何かに鍛え上げ、ムハンマドと切り結ぶ。ムハンマドは音の鳴る球を転がしてグロフィスを幻惑しようとするが、ヤックーが粘土を投げて球が音を鳴らせないようにした。魔王剣以上の何かを倒れたムハンマドの心臓に突き刺したグロフィス。ムハンマドは絶叫を残して滅びた。</p> <p>コンラートとウィリアムがムハンマドの持っていたタワーシールドとグレートソードと革鎧を回収しミュウのVAPに積み込んだ。</p> <p>トーコにレオンハルトほどではないと言われたグロフィスだったが単純な臂力に意味が無いと切り捨てた。</p> <p>そして、第一階層の入口まで移動するとムハンマドの手下たちが立ちふさがった。</p>	

ガス抜きのお時間	3/3 22:41~3/3 23:10
<p>ムハンマドの手下たちは一行を嘲笑い、ムハンマドが死んだと言っても信じない。</p> <p>数は15人で、それぞれレベル4~5の戦士たちだった。トーコが手下の一人に麻痺毒を塗った吹き矢で麻痺させたところで、運命に似た何かがこのまでの戦闘で不完全燃焼だった一行のうちの何人かのガス抜きのために用意してくれたかのような戦闘が始まった。</p> <p>敵の数は一人減ったので14人。あっさり一網打尽にされないように半径10mほどに散らばって配置されていた。手下たちとの相対距離は5mほど。コンラートは手下たちの中に犬（案内人）が入っていないのを狐に確認した。</p>	
1ターン目	
<p>リーヴェがテラーフィールドを展開し、手下たちが抵抗できずに疎みあがる。（すべての行動に-3）セレスティアは『一番近くて、一番遠くて』と『ザザンクロス』を歌い、魔法ダメージを与える。ウィリアムが貴族宣言し手下たちはウィリアムに注目。ナナミは明鏡止水。</p> <p>一番手で攻撃したコンラートは、撃滅・竜吼掌で手下たち全員に痛撃を食らわせ、既にセレスティアの歌でボロボロになっていた手下たちはあっさり全滅。戦闘は終了した。</p>	

ひかえおろう	3/3 23:13~3/4 0:15
<p>ムハンマドの手下たちを突破した一行は圧倒的多数の敵に包囲された。完全武装してムハンマドの手下たちほどは隙が無いレベル5相当の兵士の数は最低でも100人以上。それを率いているのはちょび髭にふさふさした不自然な髪の子供船統括のガーリックだった。案内をするはずの犬っぽいハーフリングは捕らえられていた。</p> <p>ウィリアムに促されてビッグファーザーがガーリックの説得に向かった。ビッグファーザーがあくまでも穏やかながら恫喝にも似た言葉を並べると、犬も含めて兵士たちが全員跪いて頭を下げた。ガーリックは土下座をして一言も発することができない。</p> <p>土下座に加わっていた犬をコンラートが正気に戻し、一行は犬の案内で港（ドック）に到着した。港には大型キャラックが三隻停泊して出航を持っていた。港で待っていたマタオキール神父に首尾よく運んだことを報告。200人を超える子供たちを連れだしたトゥマシッドも合流。捕まっていた中にはホワイト（ウォーロック）とユラ（深淵からの帰還者）も混じっていた。ユラは船に乗っている場合、拿捕されるとどれだけ個人が強くとも抵抗できなくなると明かした。</p> <p>これからの身の振り方をウィリアムに問われたビッグファーザーは、息子と娘に顔向けできるようなビッグセブンを作り替え、罪を償う方法を考えると言った。ウィリアムにトゥマシッドが周囲から慕われていると言われると、今後は彼を使うようにするつもりだった。ムハンマドを引き入れてしまった原因の一端はガーリックにあるようで、ガーリックにそれなりの責任を取らせるつもりだ。ビッグセブンはこれ以降はホオツキの支援を全力で引き受けてくれるようで、自分たちの家だと思って遊びに来ていいと言われた。</p> <p>コンラートは誤って殺してしまった熊たちとミキサーで潰された子供たちの蘇生の手配を改めてビッグファーザーに頼み快く引き受けてもらった。子供たちのことが気になっていたウィリアムだったが、子供たちはひとまずヴィステージボルトへと運び、そこからマタオキール神父の手配で身の振り方を決めるようだ。</p> <p>ビッグファーザーはエーゲッツを引き渡すように一行に頼み、ウィリアムはエーゲッツを殺さないことを約束したと伝えて、ビッグファーザーに引き渡し、ビッグファーザーも殺さないことを約束した。</p>	

船出	3/5 21:36~3/5 23:00
<p>一行はそれぞれ関わった人々に別れを告げる。乗ってきた船からはトゥマシッドとその部下たちの代わりに補充の船員が乗り込んでいた。ホワイトとユラもいったんホオツキに戻るようだ。</p> <p>マタオキール神父と案内人たちに別れを告げた。マタオキール神父は一行との出会いを感謝しつつ子供たちを乗せた船で船出をした。（行先はヴィステージボルトと思われる）</p> <p>レオンハルトとエドワードに別れを告げた。レオンハルトたちはダウ（小型快速船）で海の彼方へと去っていた。トーコを連れていくかと思われたレオンハルトだったが、ロックたちのダウが追いついてきたためそのまま逃走していった。</p> <p>グロフィスとヤックーに別れを告げた。グロフィスは珍しく一行を褒めていった。断られることを予期しながら敢えて聖堂暗黒騎士団員のリーヴェがグロフィスの免罪を持ち掛けたが、予想通りグロフィスはその申し出を蹴っていった。これまでに貯めた金はムハンマド打倒に使い切ったので、また金を稼ぐと北海方向へと船を走らせる。</p> <p>トニーとサリーに別れを告げた。姉弟はビッグファーザーの元に残ることにしたい。</p> <p>いつもは冒険が終わるといなくなるテレサだったが今回は一行の船に乗っていた。</p> <p>熊とミキサーで潰された子供たちは蘇生された。リーヴェが熊へお詫びの手紙を書いて送ったところ、熊から気にしないようにという趣旨の返事が返ってきた。コンラートはビッグファーザーへ磁石をポルテッカ商会に引き渡してほしい旨の手紙を送ったところ、磁石は後日返却されたい。グロフィスは今回の戦いを最後に聖騎士の技を捨てたらしく、ムハンマドとの戦いで見せた技は闇に葬られた。</p> <p>レオンハルトは後日師匠に追加され、レオンハルトからの依頼もホオツキに入るようになる予定。</p>	

お宝鑑定団	3/5 21:49~3/5 22:55
<p>それぞれの別れを終えてホオツキへと航海しながら一行はお宝の鑑定を行った。</p>	
<p>エーゲッツの薬・カプセル・注射器</p>	<p>一度鑑定したが、倫理が邪魔をして鑑定できなかった。ホオツキについてからリリーナに見てもらった。体内の人間性を暴走させて、神々の枷を外し、人間の内側にある可能性を暴走させる薬で、とても良い気分になって人間ではない何かになれる薬だということが分かった。その後全て没収されてしまった。</p>

ムハンマドのグレートソード	月光の大剣：魔法鉱石（ブルームーン）で作られた大剣。術者の魔力を攻撃力に転換する働きがある。グレートソード。重さ10。ただし重さ30の両手剣として扱う（重量が20軽量化）。命中+3。筋力ではなく、知力ボーナス×2をダメージ補正ボーナスとして扱う。TP2（固定）を消費して、射程30mの飛び道具として使用可能（ソニックブーム）。刀身が蒼く輝いている。鞘から抜くと半径5mが明るくなり、たいまつ代わりに使える。アーティファクト・ハイ。標準取引価格：70万セレン。
ムハンマドのタワーシールド	悠久の門（右）：門の形をしたタワーシールド。それは片側の扉であり、その門には不思議な文字が書きめぐらされている。それは願いを叶える扉と言われ、それは憧憬の扉と言われ、それは帰還の扉ともいわれる。命中ペナルティ、およびシールドバッシュ時の命中ペナルティが無い。そのほかは通常のタワーシールドと同様である。オリハルコン製。重さ5。潜在効果：悠久の帰還『正面3m以内に誰か対象が居り、かつ、悠久の門の左右を両手に装備しているときに使用可能。扉を合わせて正面に構え、その扉を開く。対象に対して、冒険者レベル+知力B×2を用いて、相手の魔法抵抗と即決勝負を行う。成功すると対象は門の向こう側に切望していた何かを見て、門の中へと入り込む。そのうち、対象はどこか知らない世界へと旅立ち、二度と戻ってこない（完全ロスト）。一度発動してしまうと門の向こう側に対象が入ってしまうことを阻止できない。あらゆる憧憬が満たされるとき、それは人にとって致命的なものとなりうるのだ。この効果は即死属性として扱う』標準取引価格（単体）：40万セレン 左右の門が揃った時、このアイテムは『羅城門』という名のアナザーワンとなる。両手にペナルティ無しで装備可能。二つ揃えて装備した場合、【命中補正+0、ベース+15、クリティカル：しない】となる。価格は青天井。
ムハンマドの革鎧	シラの鎧：太古の滅びた混沌の都の奥で、神々の父の帰りを待ちわびた女神に仕えた騎士の鎧。白銀の胸当てに金色のショールで装飾されている。シラは決して到達しえない父を待ち続ける女神に仕え、神々の時代が終わるまでただそこにいた。ハードレザーアーマーとして扱う。重さ10。ベース20。回避+2 ダメージ-2。剣術儀礼使用時に更に命中+1。ナイト、テラーナイト、ドラグーン、ドラゴンナイト、パラディン、ロードのスキルのTP消費を-1する。レジェンド。潜在効果：スキル「カバー」使用可能。（ナイトスキルの【カバー】と同じもの）標準取引価格：62万セレン
エーゲッツの白衣	パラケルススの白衣：伝説の錬金術師が着ていたといわれる白衣。その真偽は怪しいものの、確かに力は秘められているようだ。魔法抵抗+2、ダメージ-1のローブとして扱う。潜在効果：錬金術調合の必要時間が1/4短縮される。（25%軽減、端数は分単位で切り上げ）レジェンド・ハイ 標準取引価格：90万セレン

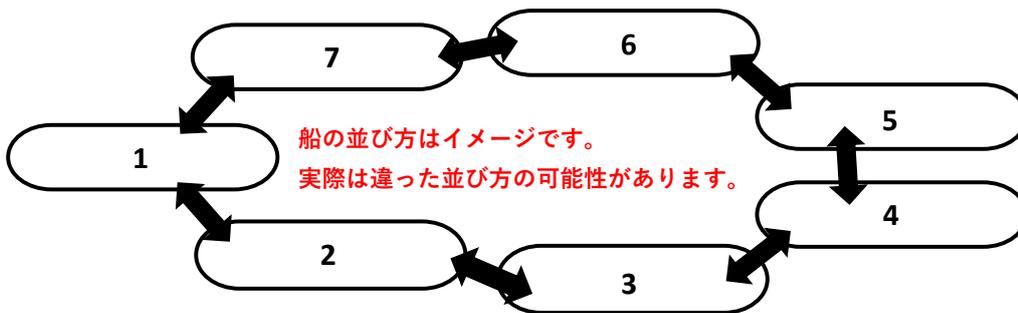
ホオヅキへは後日、お礼の品が送られてきた。

現金で白金貨100枚。次に白金貨50枚（エーゲッツ売却額）。盗賊ギルドからの今回の経費分の補填分（ビッグセブンの外で使った金額も請求できる）の金額。ケイオスシード（6点充電。装備時魔法抵抗+1）を3個。EGGポーン（指揮官機）。商用キャラック（熟練船員付き）一隻。

<b>リザルト</b>	3/5 22:26~3/5 22:26
10000経験点+40000経験点（期間ボーナス20000点/一か月）、60FP、20名声、テオクリスタル2つを獲得。3週間経過。セレスティアが悠久の風を歌ったので、経験点は実質55000となった。	

時系列	
1日目	グロフィスによるブリーフィング。盗賊ギルド・商業ギルド・会計所での情報収集。枕営業
2日目	船員を面接して出航
3日目	
4日目	テンタクルキングが襲来し、これを撃退した。海に落ちた船員Hを救助。船にダメージがかかったため応急処置を行う。船員たちが感謝。さらに船を補修した。
5日目	深夜になって船員Eが西北西に舵を切るように進言。その進言を受け入れて西北西に舵を切った。
6日目	昼過ぎにビッグセブン到着 奴隷市場で追い回されてレオンハルトの手駒になるという条件で助けられる
7日目	賭場街に出かけた。食堂で朝食。処刑されそうになっていたトゥマシッド（船員E）とテレサを救出した。トゥマシッドとテレサから情報を聞き取り。エドワードに四番船のマストの上の新しい拠点に案内された。カジノに繰り出してマタオキールと遭遇した。
8日目	マタオキールと最初の交渉。グレートワズ信仰問答119番に正解できる者を連れて来れば協力すると言われる。正解できる者がグロフィスであると判断し、乞食から情報を買った。三人組と接触。尾行されて隠れ家発覚。乞食、盗品市、船着き場、食堂で情報収集。七番船の入港ドックのローザミスト号に戻った。船内と入港ドックで情報を集めてから、エドワードと合流。新しい拠点に移動した。
9日目	二番船に潜入開始。ウサギと遭遇。磁石が置かれている倉庫でグロフィスと交渉し成功した。グロフィスをマタオキールに引き合わせた。マタオキールが行動不能となった。
10日目	四番船貧民街でマタオキールと会話。マタオキールからの協力を得た。マタオキールからデビルコアについての詳しい話を聞いた。隠れ家でトニーから話を聞いた。ヤックーと再接触した。薬の売人のポストと会話。二番船のブラッディマーケットで情報収集。ヤックー説得。ロックたち三人組に再接触し、デビルコア破壊への協力を取り付けた。ビッグセブン移動中の水と食料を確保した。
11日目	ビッグセブン到着期限。ビッグセブンが朝に出航。この時点からすべての船に退去命令が下った。作戦会議など開始
12日目	
13日目	レオンハルトと総帥の取引予定日
14日目	ビッグセブン移動完了。グロフィスの取引予定日。三番船への侵入を開始した。エーゲッツを捕縛。サリーが一度死んで復活した。ビッグファーザーがこれからの人生で、犯した罪を償うことを誓った。デビルコアとの戦闘で辛くも勝利した。ムハンマドがグロフィスに倒された。事後処理の後、冒険終了。

ビッグセブン	
一番船 (危険)	武器商人 セオンハルトと総帥が取引をする 磁石の運び先 ギャング同士の闇取引に遭遇したら終わり。
二番船 (危険)	薬物販売 <b>ビッグセブンの次の行き先はこの船で決める</b> らしい。 <b>レオンハルトと総帥の取引の予定場所</b> 。取引用の倉庫にグロフィスが滞在し、荷物(磁石)を運び込んである。荷物は小規模な取引用倉庫に分散した。エドワード無しで潜入するのは難しい。発狂したような連中がうろついている。ウサギが案内してくれた。
三番船 (超危険)	人体実験 子供たちが捕まっている セキュリティ厳重 実験ラボの中には護衛団でも入り込めない。トゥマシッドもムハンマドも入れない。【入口】は海水取り入れ口から入る、【出口】は中央付近のゲートから出ることになる。ゲートも船の奥の方。
四番船 (活動可能)	裏医療 パーツにした奴隷から奪った装備品を盗品市で販売 旧隠れ家がマストの上にあった。貧民街にマタオキールの縄張り有り。
五番船 (活動可能)	違法賭博 儲けられる人は最初から決まっている お食事処 総括はガーリック。様々な『繋ぎ』も取り扱う。ロックたちの拠点が第三宿泊施設にあり、21時には深夜食堂で食事をする。
六番船 (活動可能)	奴隷市場 奴隷をパーツ売りしている 旧隠れ家。 <b>第二船倉に新しい隠れ家</b> 。
七番船 (危険)	資金洗浄 セフィから借りた船を係留中。強盗がうろついている。



ネームドNPCリスト	
グロフィス	悪党。リーン曰く善人。今回の依頼者。元聖騎士。海賊や熟練船員たちをあっさりで見捨てているあたり、まるっきり善人というわけでもないようだが…。冒険者には首を突っ込まずに早く帰れと言った。割と有力者らしい。取引の時以外は一人で行動している。賭場でも遊んでいたようだ。元々はミハエルという名前だったらしい。ミハエル・ガールウィの正体で確定。彼の元にヤックーを連れて行ったことで一行を計画に混ぜることにした。ロックの言葉も気に入らなかったらしい。テレサの起こした奇蹟に啞然としていた。ムハンマドを倒したことでようやく一介の悪党になることができたと思っていた。冒険終了後、今回で使い果たした金をもう一度稼ぐためにヤックーと共に北海方向へと去って行った。
ミハエル	ミハエル・ガールウィ。グレートワズ信仰問答119番に完全な答えを出した、ゴッドハンド候補でもあった高位の聖騎士だったが、25年前の【アインハッドの惨劇】以来姿を消している。マタオキールの求めているのは彼だった。やはりグロフィスだった。
ムハンマド	在内護衛部隊の隊長。アインハッドの惨劇の時に実行犯の市長に近づいた手口がビッグセブンの総帥に取り入った手口と酷似している。グロフィスの調査で、惨劇の黒幕の魔界貴族であることが確定している。音を操る。音を細かく聞き分け音を使って敵を混乱させる。もし、魔界貴族であったとしても今は制約を破ってしまったため能力の大半を喪っているらしいがやはり強い。ビッグセブンでは好き放題に振る舞っている。実際とても強い。七隻全部の警備を任されている。グロフィスとの決着戦では音玉の力をヤックーに封じられ、グロフィスの魔王剣(?)で倒された。
総帥	ビッグセブンの総帥。本名不明。ビッグファーザーともビッグボスとも呼ばれる。七つのシンジケートのボスであり、それらをついにまとめ上げた。七つのシンジケートを同時に経営しそれぞれを巨大組織へと育て上げた天才。裏社会の巨大頭。直属の七人の幹部しか信用していない。サリーマリアという娘とトニールという息子がいる。マタオキール神父によると彼がデビルコアを買うのは心臓疾患により15歳まで生きられない娘のサリーマリアを救うためらしい。元よりデビルコアを使えばサリーが化け物になることは知っていたが、化け物でも良いからサリーには生きていて欲しかった。一行がサリーのところに着いた時には既にサリーは死んでいて後を追って死ぬつもりだったが、テレサがサリーをあっさり復活させたことで、これまでの人生で犯した罪を償うために生きていくことを誓った。実はトニーも知っていたジョンおじさんだった。最後に現れたガーリックは彼の穏やかな恫喝で土下座してしまった。
トニー	人体実験場から逃げ出してレオンハルトに拾われた少年。剣王国に住んでいたが人狩りにさらわれた。姉のサリーに逃がされた。ビッグセブンの総帥の息子と判明した。冒険後ビッグファーザーの元に残った。
サリー	トニーの姉。12歳。三番船から移動する隙についてトニーを逃がした。ビッグセブンの総帥の娘と判明した。心臓疾患で15歳まで生きられない。優しくして遠くまで歩けなかった。家で本を読んでいることが多かったらしい。一行がサリーのところに着いた時には既に死んでいたが、テレサがあっさり蘇生。冒険後ビッグファーザーの元に残った。
ヤックー	ヤックー・ドウバドゥバ。元はアルベルト・ヤックーという名前だった。元技師のヤク中。火薬と磁石と磁力にも詳しい。四番船の盗品市で爆薬を売ってはその金で二番船で薬をキメている。爆薬を売ってくれた商人と同一人物。元々は聖騎士ミハエル・ガールウィ(グロフィス)の従者だったが、アインハッドの惨劇で壊れてしまった。詳細不明だが惨劇で何かの壁を壊せなかったことがトラウマになっているようで、取り憑かれたかのように火薬を作っては色々爆破していたので二番船に送られて飼育殺されていた。アインハッドの惨劇の公式なただ一人の生還者。グロフィスに再会し、更生した。テレサがあっさりサリーを復活させたことに衝撃を受け、跪いて祈っていた。冒険終了後、グロフィスと共に北海方向へと向かった。

レオンハルト	元ティガール第三皇子。パワーレスリングの化け物。ロックの音越えを食らっても平気。ティガールのS級指名手配犯。体格の良い豪快な印象の金髪イケメン。器の大きさは感じられるが、あまり細かいことは考えていないようだ。エドワードによるとティガールの皇帝に相応しい男。トーコに惚れられた。ルビーブラッドを手に入れてティガールを転覆させようとしていたが、ルビーブラッドの真実を知り、自らルビーブラッドを握り潰した。冒険終了後、エドワードと共にロックたちから逃走しつつ海の彼方へと去った。師匠欄に追加された。今後は彼からの依頼も入るようだ。
エドワード	レオンハルトの護衛。無明の狙撃手。元ティガール最強の男。外見はさえないおっさん。準GS17.5話『紅蓮の命運』に登場したリグニラットハンターと同一人物。まるで認識を阻害するような独特な隠密技能を持っている。ブラッディマーケットのボス黒姫ヴィエナ・グランデに個人的なコネがある。レオンハルトと共に海の彼方へと去った。
ロック	エリザベートの護衛の一人。正義の味方。なかなか剣を抜かない。五番船でレオンハルトにスープレックスで投げられた。いろいろ苦勞しているようだ。アインハッドの惨劇が発生した頃は聖騎士団の団長に随行していた。当時の名前はシモン・デュナーク。アインハッドの惨劇の資料をまとめたが結局真相は分からなかった。惨劇の後しばらくしてからティガールに亡命して今の名前を名乗った。デビルコア破壊をレオンハルト捕縛よりも優先した。護衛獣との戦いでも結局剣は抜かなかったようだ。冒険終了後、再びレオンハルト追跡任務へと戻っていった。
ユカリ	エリザベートの護衛の一人。火縄銃マスターでルーンソード。サッカバス。尾行は大の得意。
パトリシア	エリザベートの護衛の一人。衛生兵。早くシャワーを浴びたい。色々勝手に決められるのが不満。
サイゾウ	フワ・サイゾウ。(不破才蔵?) 賭場の用心棒。サムライ。路銀を稼ぎたい。善人そうには見えない旅の素浪人。得物は太刀。ホオツギにも来たことがあるらしい。レオンハルト曰く、『家来になりたがっている男』。一度遭遇してから姿を見ない。結局最後まで姿を見せなかった。
ゴル	賭場の用心棒。黒服。食事中は仕事から離れたい派。案内人もできるらしい。食事がまずくなるようなことはしたくないので、おっちゃんの店で食事中だけは善人になる。
エーゲッツ	エーゲッツ・ナイール。三番船の統括で七大幹部の一人。えげつない生体実験が大好きな変態で性的不能者。ひよろながの博士風。デビルコアの真実を知りながら、ビッグファーザーが破滅に向かうのを止めない。彼によりルビーブラッドが子供たちの血を搾り取った結晶であることが分かった。堅牢なガラス壁とサロメの論文を読んで完成させた毒ガスと怪しげなパワーアップ薬を用意していたがいずれも不発に終わり捕虜となった。最後にビッグファーザーに引き渡された。彼の技術だけは本物で、冒険後に錬金術と薬学が長足の進歩を遂げた。
ガーリック	五番船の総括で七大幹部の一人。ムハンマドが敬称を使っていた。不自然に毛がふさふさのヅラを愛用。ちょび髭を生やしている。ハゲだがそれを指摘されると、すぐに粛清する粘着質の人。うっかりハゲを暴いてしまったテレサも処刑するよう命令した。最後に多数の兵を率いて一行を捕らえに来たが、ビッグファーザーの一言で土下座してしまった。
トゥマシッド	船員Eのこと。オラトリア商会所属と嘘をついて乗り込んできた船員だったが、テンタクルキングの襲撃で海に落ちた部下(船員H)を救ってもらったことで一行に感謝をし、一行を海賊の襲撃から救うアドバイスをした。ビッグセブンに乗り込んだ時に行方不明になっていたが盗品市で彼のカトラスが売られていた。裏切り者として処刑される所を一行に救出された。元は船上護衛部隊の隊長だった。エメラルドのはまったカトラスを大切にしている。周囲から崇拜されたり頼りにされたりしていた人望のある男で、ムハンマドに敗北はしたものの、なんだかんだで英雄級の力を持っているらしい。ビッグファーザーは今後は彼を使う方針のようだ。

<p>マタオキール</p>	<p>マタオキール・ボッキー。おそらく偽名。目は使えない。色黒で痩せていて、色眼鏡をかけてローイ派の神官服を着込んでいる。ビッグセブンの中でも実力者で得体のしれないバックボーンを持っているらしい。お金が大好きでホモというのは嘘だった。実際は女が誘惑してもすり寄っても反応しないだけで、お金も子供たちが安心して暮らせる縄張りを広げることに使っている。（真偽は明らかではないが）予知能力があり、彼の言うとおりに賭けると当たるらしいが、最終的には全財産を巻き上げられ、これが彼の仕事になっている。協力の条件にグレートワズ信仰問答119番という難問を投げかけた。実は彼もデビルコアの被害者の一人で娘を失っている。その時は良心の呵責から娘にデビルコアを埋め込むことは踏みとどまったが、娘を看取ることができなかった。それ以降、思い悩んでよくグレートワズ信仰問答119番を呟いていた。娘を救うために莫大な借金をしている。一行が連れてきたグロフィスに信仰問答の答えを聞かされ感動で一日固まり続けた。娘を救えなかった過去に彼なりに決着をつけることができたのだろう。以降は一行を良くサポートして大体の段取りを整えてくれた。救出された子供たちは彼の手配で今後の身の振り方を決めるらしい。冒険終了後、捕まっていた子供たちを連れて船出した。</p>
<p>エレノア</p>	<p>五番船の娼婦。登場していきなりトーコの性癖をびたりと言い当てた。マタオキールに育てられた子の一人で、神父や仲間うちのことは大体知っているという。</p>
<p>狐</p>	<p>三番船の案内人。防護服を着ただる一んとした人。掃除人で毎日のようにガラスの檻の辺りを掃除していた。気が小さくしゃべり方も自信なさげ。防護服を脱いたら美青年だった。</p>
<p>熊</p>	<p>三番船の案内人になるはずだったが、間違えて一行に殺されてしまった。コンラートが何度もビッグファーマーに蘇生を頼み込み、無事蘇生された。リーヴェがお詫びの手紙を送ったところ、気にしないでほしいという旨の返事があった。</p>
<p>犬</p>	<p>三番船からの脱出を案内してくれるはずだったが、ガーリックに捕らえられていた。ツインテールの髪の犬っぽい雰囲気の良いハーフリング。性別不明。</p>
<p>ウサギ</p>	<p>二番船にいる麻薬の売人。ブラッディマーケットに所属。ウサギのことが好きすぎて名前もウサギと名乗っている。怪しげな恰好をした女で、過去に海賊船の砲撃から救ってくれたトゥマシッドに恩義を感じている（というか、大好き？）らしい。トゥマシッドのことを『マシッド様』と呼んでいる。ストーカー気質あり。船員Bにはあまり興味がないようだ。船員Bから渡された手紙を途中まで読んで早とちりして海に身を投げそうになった。生意気な女を麻薬漬けにして売り飛ばすという悪事もこなしている。</p>
<p>姐御</p>	<p>二番船の薬の売人のボス。本名不明。シャドウでブラッディマーケットに所属。礼儀にはうるさい。ウサギの親分。ぐいぐい迫ってくる。</p>
<p>ラトル</p>	<p>四番船の盗品市にいる乞食。グロフィスの情報を教えてくれた。トゥマシッドと仲よし。</p>
<p>ラット</p>	<p>ラット爺。四番船の船着き場にいる。小舟で船と船の間を移動させてくれる。トゥマシッドと仲よし。</p>
<p>船員B</p>	<p>トゥマシッドの部下。留守にしていた船に残っていた。ウサギ宛てに手紙を書いた。</p>
<p>船員H</p>	<p>オラトリア商会所属と嘘をついて乗り込んできた船員だったが、船がテンタクルキングに襲われた時に海に投げ出されてラーズに命を救われた。</p>
<p>テレサ</p>	<p>GSで出撃したエリアで必ずどこかにいるらしい放浪者。今回はビッグセブンの偉い人がヅラをかぶっている事実を露見した罪で処刑場に引っ張り出されている。グレートワズ信仰問答119番と聖騎士ミハエル・ガールウィについての情報をくれた。ビート板があれば泳げる食っちゃ寝シスター。エーゲッツの毒ガスを浴びて未知の病魔に侵されたレオンハルトを触れただけで治ただけでなく、手遅れで死んでしまったサリーもあっさり復活させ、さらにデビルコアとの戦闘でほぼ壊滅した一行もたちどころに治療してしまった。冒険終了後も珍しく姿を消さなかった。</p>

ガガル	ガガル・オウリンゲン。25年前のアインハッド市長でアインハッドの惨劇の実行犯。ムハンマドという男を護衛に雇ってから人が変わったようになり、何らかの大きな取引（デビルコア？）をした三日後にアインハッドの惨劇を引き起こした。動機は不明とされているが、状況からの推定で入院中の娘を救うためだったと思われる。発見された死体は半分ほど喰われていて、娘の死体の心臓はくり抜かれていた。
ホホワイト	ウォーロック。強いはずだが船が拿捕されてビッグセブンで囚われていたのをトゥマシッドに救い出された。いったんホオヅキへと帰還した。
ユラ	深淵からの帰還者。アルマーヤに行くはずだったが、ビッグセブンの海賊のせいでアルマーヤに行けないでいるようだ。結局、アルマーヤに向かったのだがホホワイトと一緒にビッグセブンに捕まってしまい、トゥマシッドに救い出された。ホホワイトと共にホオヅキへと帰還した。
リーン	娼館の経理担当。魔界貴族。グロフィスをからかって遊んでいる。
アルクメネ	オラトリア商会の受付。『ジエーイ』が口癖。悪い人ではないが暴れ馬。もしかしたら、同じ口癖の他人かもしれない。準GS『北方探索』にも登場。
女海賊A	ホオヅキにいるはず。ビッグセブンにはいるはずがない
女海賊B	ホオヅキにいるはず。ビッグセブンにはいるはずがない



PCのセイラースキル習得状況		武装キャラベル『ローザミスト』	
ウィリアム	無し	設置大砲門数/設置可能大砲最大門数：8/48門 乗員数：雇用船員15名 冒険者10名 最低乗員数15、最大乗員数45 装甲：50 耐久力：222/230 最大貯蔵量：80 船速：1.3+0.8 キャラック（操舵・操帆術レベル4で計算） 船尾楼(白兵戦力+20) 渡り板(荷降ろし補助用) 左砲門：カロネード砲2門(門数x1.3倍威力、射程400+80m) 右砲門：カロネード砲2門(門数x1.3倍威力、射程400+80m) 船首砲：キャノン砲4門(門数x1.5倍威力、射程300+80m) (弾道学レベル4で計算)	
ガリル	有り		
コンラート	有り		
セレスティア	有り		
トーコ	無し		
ミュウ	有り		
ナナミ	有り		
ラーズ	無し		
リーヴェ	有り		
リーユエ	有り		
樽計算			
樽総数	26	樽一つから修理用木材が二つ得られる。船 解体済 4 大工の修理には修理用木材を一つ消費。 食糧樽 8 <b>船大工レベル4、器用B4として計算して出</b> <b>目7 (ベース20) だと13回復する。</b> 飲料水樽 10 空き樽 8 修理木材 0	
解体済	4		
食糧樽	8		
飲料水樽	10		
空き樽	8		
修理木材	0		